au by KDDI

DATA01
DATA03
取扱説明書

READ THIS MANUAL TO MASTER
THE DATA CARD

www.au.kddi.com

本製品には、接続先としてau.NETがあらかじめ設定されています。au.NETをご利用の場合、月額945円(税込)が別途かかります(ご利用があった月のみのご請求となります)。<2010年9月現在>
料金については、最新のau総合カタログ/auホームページをご参照ください。
※ 他のプロバイダに設定変更した場合は、上記の料金は発生しません。設定の変更は、本取扱説明書のP.22、P.41をご参照ください。

ごあいさつ

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に、『取扱説明書』をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『取扱説明書』を紛失されたときは、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

memo

◎本書は、お客様がWindows／Macの基本操作に習熟されていることを前提にしています。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
◎本書内で使用されている表示画面、イラストなどは説明用に作成したものです。
実際の画面と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
◎以下のauホームページから取扱説明書をダウンロードしてご利用いただけます。
(http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html)

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」(▶P.2)をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、「故障とお考えになる前に」(▶P.49)をご確認ください。

本製品をご利用いただくにあたって

<通信上に関する注意>

- 本製品は、電波受信状況を示すLEDランプが消灯しているときは使用できません。LEDランプが安定して点灯する電波状態の良好な環境で通信を行ってください。
- サービスエリア内であっても、屋内や電車の中、地下駐車場、トンネル、ビルの陰、山間部など電波の伝わりにくい場所では、通信ができない場合があります。またサービスエリア内であっても、地域的に電波の伝わりにくい場所もありますのでご了承ください。
- 本製品はデジタル方式の特徴として電波の弱い場所でも一定の高い通信品質を維持し続けます。通信中この電波の弱い場所を超えてしまうと、突然通信が切れてしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえませんのでご留意ください。
- 本製品は国内でのご利用を前提としています。国外に持ち出しての使用はできません。
(This Product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 公共の場でのご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 自動車運転中に本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車運転中の使用は法律で禁止されています。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での携帯電話および電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。

技術基準設計認証番号:AD09-0363001
認証年月日:2009年11月4日

動作環境（対応OSについて）

本製品の使用できる環境は以下のとおりです。

OS	メモリ	ハードディスク	インターフェイス
Windows 7（32ビットおよび64ビット）	推奨1GB以上（32ビット）2GB以上（64ビット）	推奨250MB以上 200MB以上の空き容量が必要	USB2.0（WiMAX方式のみ対応） USB1.1（両方式に対応）
Windows Vista Service Pack 1以降（32ビットおよび64ビット）	推奨1GB以上 512MB以上必要		
Windows XP Service Pack 2以降			
Mac OS X 10.5	推奨1GB以上		
Mac OS X 10.6			

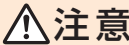
※USBポートを備えるパソコンで上記OSの日本語版／英語版がプリインストールされているパソコンとなります。
※Mac OSにつきましては最新バージョンを適用していただくことで安定した通信速度が得られる場合があります。ソフトウェアアップデート方法などの詳細はアップルジャパン株式会社のサポートページをご覧ください。
※CDMA方式はUSB1.1規格のみ対応ですが、USB2.0インターフェイスを備えたパソコンでもご利用になれます。この場合は、USB2.0規格では通信せず、USB1.1規格での通信になります。
※本製品は、USB3.0規格には対応しておりません。
※動作環境の最新情報はauホームページをご確認ください。

上記の環境以外では、動作しない場合があります。また、上記に該当する場合でも、パソコン本体・接続されている周辺機器、使用するアプリケーションなど、お客様がご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。
Windows Vista Service Pack 1において、WiMAX通信時に通信状態が悪いときにごくまれに接続しづらくなることがあります。この場合は、Windows Vista Service Pack 2にアップグレードすることで改善する場合があります。
Mac OS X 10.6.3において、WiMAX通信時にブラウジング（ネット閲覧）できなくなることがあります。この場合は、Mac OS X 10.6.4にアップグレードすることで改善する場合があります。

memo

◎パソコンに対するサポートやOSのバージョンアップなどのサービスに関するお問い合わせは、各取扱説明書をお読みの上、各メーカーの定める手順に従ってください。

免責事項について

◎地震、雷、風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
◎『取扱説明書』の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎大切なデータは別途パソコンのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化、消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては一切責任を負いません。
※当社とは、KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）および（株）日立製作所とします。
◎この製品は、UQ WiMAX ネットワーク環境でご使用になれますが、本製品の品質などに関してUQコミュニケーションズ株式会社が何ら保証するものではありません。

安全上のご注意

■ **安全にお使いいただくために必ずお読みください。**

- この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■表示の説明

表示	説明
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害(※2)を負うことが想定される内容や物的損害(※3)の発生が想定される内容」を示しています。

※1重傷 ： 失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2傷害 ： 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3物的損害 ： 家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■図記号の説明

図記号	説明
	行ってはいけない(禁止)内容を示しています。
	分解してはいけない(禁止)内容を示しています。
	濡れた手で扱ってはいけない(禁止)内容を示しています。
	水に濡らしてはいけない(禁止)内容を示しています。
	必ず実行していただく(強制)内容を示しています。

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

必ず専用の周辺機器（USB延長ケーブル）をご使用ください。専用の周辺機器以外を使用すると発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

高温になる場所(火のそば、ストーブのそば、炎天下など)や引火性ガスの発生するような場所での使用や放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

電子レンジや高圧容器などの中に入れないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。火災や故障の原因となる場合があります。

分解や改造、お客様による修理などをしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品やパソコンなどに不具合が生じても当社では一切の責任を負いません。携帯電話および電波を発する電子機器の改造は電波法違反になります。

落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

水などの液体をかけないでください。また、水などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用はしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。(雨天・降雪中・海岸・水辺などでの使用は特にご注意ください。)万一、液体がかかってしまった場合にはすぐに使用を中止してください。水濡れや湿気による故障は保証の対象外となり、修理ができません。

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用される場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器から22cm以上離して携行および使用してください。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品を使用しないよう心がけてください。
- 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
  - 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本製品を持ち込まないでください。
  - 病棟内では、本製品を接続したパソコンの電源を切ってください。
  - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品を接続したパソコンの電源を切ってください。
  - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

高精度な電子機器の近くでは本製品を接続したパソコンの電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医療用電子機器・火災報知器・自動ドアなど。医療用電子機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）

本製品が落下などにより破損し、機器内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをすることがあります。auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、パソコンおよび本製品の電源をお切りください。ガスに引火するおそれがあります。

⚠注意　**必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。誤って飲み込んで窒息したり、傷害などの原因となる場合があります。

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。使用状態によっては高温になる場合があります。長時間触れると低温やけどの原因となります。

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなど異常が起きたときは使用しないでください。異常が起きた場合、本製品を接続したパソコンの電源を切り、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。また、落下したり、水に濡れたりなどして破損した場合などもそのまま使用せず、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。そのまま使用すると感電、火災の原因となります。

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びた物を近付けたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピン）などを接続端子に触れさせないでください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

小さなお子様のいるご家庭で本製品をご使用になる場合は、お子様がUSB延長ケーブルで遊ばないようにご注意ください。
ケーブルが首に巻き付いたり、パソコンが落下してけがをするおそれがあります。

皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用をやめ、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

◎ 本体

使用場所	使用材料	表面処理
外装ケース	ポリカーボネート樹脂	UVコート
LEDレンズ	ポリカーボネート樹脂	―
コネクタ　外装部	ポリカーボネート樹脂	UVコート
コネクタ	鉄	ニッケルメッキ
ネジ	鉄	ニッケルメッキ
銘板	ポリプロピレン	―

◎ USB延長ケーブル

使用場所	使用材料	表面処理
ケーブル	ポリ塩化ビニール	―
コネクタ　外装部	ポリ塩化ビニール	―
コネクタ(レセクタブル)	鉄	ニッケルメッキ
コネクタ(プラグ)	鉄	ニッケルメッキ
タイ	ポリエチレンテレフタレート	―

ペットが噛みついたりしないようご注意ください。漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。

USB延長ケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしないでください。また、傷んだUSB延長ケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

使用状態によっては高温になる場合があります。使用中は長時間触れないでください。低温やけどの原因になります。

取扱上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

- 直射日光のあたる場所(自動車内など)や高温になる所、極端に低温になる所、湿気やほこりの多い所に保管しないでください。変形や故障の原因となる場合があります。(周囲温度5℃～35℃、湿度30%～85%の範囲内でご使用ください。)
- 湿気の多い場所で使用しないでください。身につけている場合は汗による湿気が故障の原因となる場合があります。水濡れや湿気による故障と判明した場合は保証の対象外となり、修理ができません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- USBコネクタにゴミが付着しないようにご注意ください。故障の原因となります。
- 本製品の強引な取り付け・取り外しは行わないでください。機器の故障やけがの原因となります。必ずお使いのパソコンの取扱説明書に記載されている注意事項もご確認ください。
- USB延長ケーブルを強く引っ張ったり振り回したりしないでください。ケーブルの破損・断線の原因となります。
- 無理な力がかかると内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンの中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると、外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。また、ほこりなどが付着した場合には、軽く拭きはらってからご使用ください。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。
- 水をかけないでください。本製品は、防水仕様になっておりません。

- 本製品は不法改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- パソコンの電池が不足した状態では、動作が不安定になります。パソコンの電池の残量をよく確認のうえ、お使いください。
- 誤って操作した場合や動作が不安定な場合は、パソコンの電源を一度切り、もう一度電源を入れ直してください。
- 本製品をパソコンのUSBポートに長期間挿入したままにしないでください。
- 本製品に貼ってある製造年月の印刷されたシールは、お客様の本製品が電波法および電気通信事業法により許可されたものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- 通信中に本製品をパソコンから取り外さないでください。取り外す際は通信を終了させ、パソコンの操作手順に従ってください。
- お子様がご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者の方が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示通りに使用しているかをご注意ください。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下での使用は故障の原因となりますのでご注意ください。
- パソコンに本製品またはUSB延長ケーブルを接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- パソコンに本製品またはUSB延長ケーブルを接続するときは、パソコンのUSBポートに対してUSBコネクタが平行になるように抜き差ししてください。
- USBコネクタにUSB延長ケーブルを接続するときは、接続端子に対してUSBコネクタが平行になるように抜き差ししてください。

付属ソフトウェアに関するご注意

本製品に付属のソフトウェアのご使用にあたり、下記の事項にご注意ください。

- お客様には、本ソフトウェアの使用権のみが譲渡されます。著作権が移転するものではありませんので、第三者への譲渡・販売などはできません。
- 本ソフトウェアのコピーは、保管(バックアップ)の目的のみ許可されます。他人への譲渡・販売などの目的でコピーをすることはできません。
- 本ソフトウェアのご使用にあたり、生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する損害の請求については、当社はその一切の責任を負いません。
- 本ソフトウェアをご使用の前に、インストール時に画面に表示される使用許諾契約を必ずお読みください。使用許諾契約に同意いただいて初めて、本ソフトウェアをご使用いただくことができます。

お知らせ

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

表記について

本製品には「DATA01～04 共通ユーティリティー」と「au.NET Dual mode modem driver」が搭載されています。この取扱説明書では、「DATA01～04 共通ユーティリティー」を「ユーティリティー」、「au.NET Dual mode modem driver」を「ドライバ」と省略して記載しています。

ご利用の前に

本製品はWiMAX方式およびCDMA方式を利用して、データ通信を行うことができます。ご利用になる際は、WiMAX方式／CDMA方式自動切替またはCDMA方式専用のいずれかを選択いただけます。WiMAX方式／CDMA方式の選択・設定方法についてはP.25、44をご参照ください。

- WiMAX方式利用時は、最大受信40Mbps／送信10Mbpsでの通信がご利用になれます。
- CDMA方式利用時は、最大受信3.1Mbps／送信1.8Mbpsでの通信がご利用になれます。
  ※ご使用の通信環境により、最大通信速度は、受信2.4Mbpsまたは144kbps、送信144kbpsまたは64kbpsとなる場合があります。
  最大通信速度は技術規格上の最大速度であり、お客様の実利用速度を示すものではありません。
- 本製品は、USBポートを備えたパソコンでご使用になれます。
- CDMA方式利用時は、USB1.1規格のみ対応ですが、USB2.0インターフェイスを備えたパソコンでもご利用になれます。この場合は、USB2.0規格では通信せず、USB1.1規格での通信になります。
- 本製品は「au.NET（エーユードットネット）や対応プロバイダ（別途、プロバイダとの契約が必要となります）」のご利用により、パソコンなどを手軽にインターネットに接続し、データ通信を行うことができます。

■WiMAXとは

WiMAXは、IEEE標準規格802.16に基づいた高速無線通信方式です。本製品はIEEE802.16-2005（Mobile WiMAX）に準拠しています。

パケット通信ご利用上のご注意

画像を含むホームページの閲覧、動画データのダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと、パケット通信料が高額となりますのでご注意ください。
またワーム型のコンピュータウィルスなどの影響により、常時本製品とパソコンを接続した環境にてデータ通信をご利用の場合、お客様が意図しない通信が継続的に発生するおそれがあります。ご利用にあたりましては、ウィルス予防・対処策を講じていただくとともに、ご利用方法につきましてもご配慮いただきますようお願い申し上げます。
DATA01でCDMAエリア利用時は、ネットワークへの過大な負荷が生じるのを防ぐため、動画ファイルの添付、ファイルのダウンロード等、大量のデータの送受信中やストリーミング、動画再生など連続したデータを送受信した場合、ネットワークの混雑の度合いで最大通信速度を制限させていただきます。

ご利用パケット通信料のご確認方法について

料金照会（今月（前日または前々日まで）の割引適用前の概算パケット通信料）を照会いただけます。
パソコンから：**https://cs.kddi.com/**（auお客さまサポート）
※初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

ADSL one／au one net ADSLをご利用のお客様へ

- KDDI（株）では、おトクなセット料金でご利用いただけるコースをご用意しております（「KDDIまとめて請求」のお申し込みが必要です）。
- 新たなインターネットサービスプロバイダ契約は不要です（「au one netパケットサービス」のご加入が必要です）。

※ 詳しくは以下のau one netのホームページ、サービス案内「ADSLセット料金」をご参照ください。
パソコンから：**http://www.auone-net.jp/service/connect/set_ryokin/**

memo

◎ au.NETサービスでは、ダイヤルアップ接続におけるログインIDのドメイン部分(@以降)に全角大文字を使用しての接続はできません。必ず半角小文字で設定の上接続してください。

◎ 別途ご契約により、対応プロバイダ※による接続もできます。

※ 対応プロバイダについては、auホームページをご覧ください。また、設定方法はプロバイダによって異なりますので、各対応プロバイダの設定手順書をご覧ください。

◎ 本製品は電波を利用しているため、電波の弱い場所などでは、データ通信できない場合があります。

◎ 実効速度(スループット)は、接続する機器の種類やお使いになる環境(天候、電波状況やネットワークの混雑状況)により、通信速度が変化することがあります。

◎ 本製品は回線交換通信サービス(ASYNC／FAX通信)はサポートしておりません。

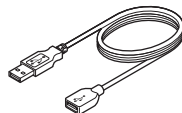
目次

ご利用の準備をする

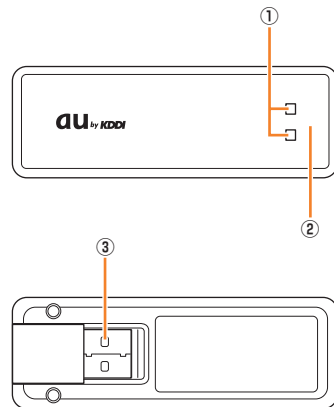
お買い上げ品の確認

お買い上げいただいたパッケージの中には以下のものが入っています。お使いになる前にご確認ください。

●DATA01／03

●USB延長ケーブル
(HID01HUA)

●取扱説明書
●保証書

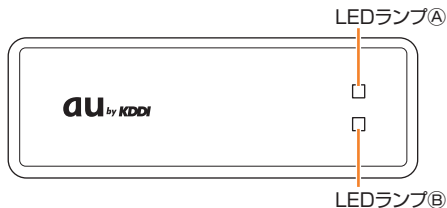
◎ ドライバ・ユーティリティーは、本製品本体に保存されています。インストール方法については、「ソフトウェアのインストール」(▶P.14、34)をご参照ください。

各部の名称と機能

① LEDランプ
電波の強さや現在の通信状態などの情報をお知らせします。

② 内蔵アンテナ

③ USBコネクタ
パソコンのUSBポートに差し込みます。

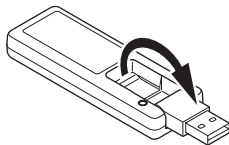
LEDランプ表示について

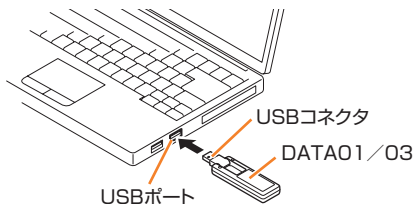
サービスエリア内の電波状態をLEDランプでお知らせします。

LED	LEDランプⒶ	LEDランプⒷ
機能	電源の供給状態、および待受時の圏内/圏外表示	データ通信中の接続状態を表示
色数	1色(青)	3色(緑/黄/赤)
消灯	次のいずれかの状態であることを通知 ・本製品がパソコンなどに取り付けられていない状態 ・パソコンが電源OFF、または休止モード中で、本製品に電源が供給されていない状態 ・待受状態で、WiMAX/CDMA 1X・CDMA 1X WINともにエリア外であることを表示	待受状態
点灯	本製品が正常に動作している状態で、かつWiMAX/CDMA 1X・CDMA 1X WINのいずれかがエリア内にあることを表示	緑色:WiMAX通信している状態 黄色:CDMA 1X WIN通信している状態 赤色:CDMA 1X通信している状態
点滅	本製品が正常に動作している状態ではあるが、CDMA 1X・CDMA 1X WINでの電波送受信状況が微弱(アンテナ0本相当)になっていることを表示	—

取り付けかた

パソコンへの取り付けかた

本製品をお買い上げ後に初めて取り付けた際には、ドライバのインストールとユーティリティーのインストールが始まります。詳しくは「ソフトウェアのインストール」(▶P.14、34)をご参照ください。

1 本製品のUSBコネクタ部分を矢印の方向へ回転させて外に出す

2 パソコンを起動後、本製品をパソコンのUSBポートに差し込む

USBコネクタは奥までしっかり差し込んでください。

◎ 1台のパソコンで本製品と他のデータカードおよびネットワークデバイス(LAN／無線LAN)を同時に使用したり、本製品を2台同時に使用しないでください。同時に使用すると正常に動作しない場合があります。

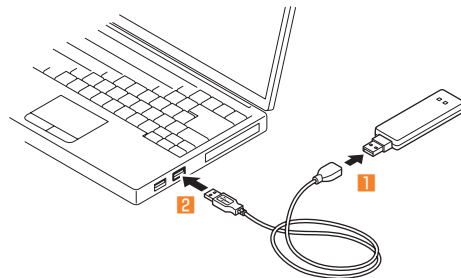
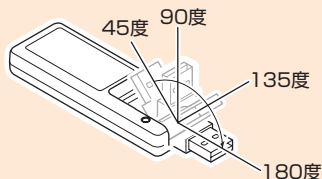
アンテナについて

本製品は、アンテナを内蔵しています。パソコンに取り付けた状態で十分に受信できないような電波の弱い場所にいるときや移動中の場合、また、ご使用のパソコンの機種によっては、USB延長ケーブルを使用してパソコンから離して位置や向きを調節してお使いください。

USB延長ケーブルを使用する

USB延長ケーブルを使用すると、本製品をパソコンから離してご使用になれます。電波状態に合わせて位置や向きが調節できるようになります。

1 本製品のUSBコネクタをUSB延長ケーブルにつなぐ

2 パソコンを起動後、USB延長ケーブルのコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む

◎ USBコネクタ部分の回転は、45度ごとに180度まで動かすことができます。

◎ USBコネクタ部分は、180度より大きく回転させないでください。
◎ 取り付ける際には、コネクタの向きとパソコンのUSBポートの向きをよく確認してから行ってください。
◎ 本製品を取り付けた状態で、パソコンを再起動したり、電源を入れたりすると、正常に動作しない場合があります。パソコンを起動する前に本製品が取り付けられていないことをご確認ください。
◎ USBコネクタ部分に汚れや水分の付着、傷などがあると、接触不良の原因となる場合がありますのでご注意ください。汚れた場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。また、端子部分はときどき綿棒などで掃除してください。

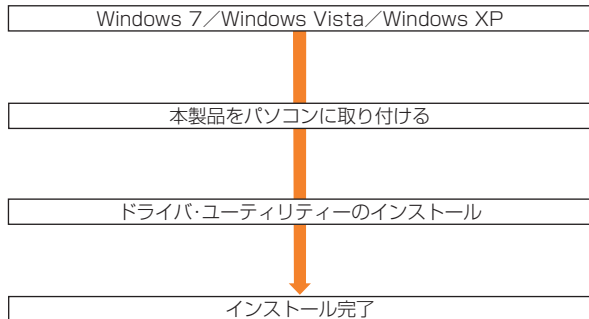
パソコンから取り外す

データ通信中でないことを確認し、次にユーティリティーを終了させてから、本製品をパソコンから取り外してください。

◎ 取り外す際は、本体やUSBコネクタ部分に無理な力がかからないようにご注意ください。故障の原因となります。

Windows版

ソフトウェアのインストール

ソフトウェアのインストールは次のような流れになります。

- ●インストールが終了すると接続先の初期値として「au.NET」が登録されます。「au.NET」をご利用の場合は月額945円（ご利用があった月のみご請求）となります。
- ●他の対応プロバイダをご利用の場合はインストール終了後、ユーティリティー（▶P.19）で接続先の変更（▶P.22）を行ってください。

Windows OSへのインストール

インストールしたソフトウェアを使用してネットワークへの接続や設定を行うことができます。

本製品には、ユーティリティーのインストーラおよびドライバが保存されています。初めてお使いの場合、自動的にユーティリティーのインストーラが起動しますので、画面の指示に従ってインストール作業を行ってください。

インストーラが自動で起動しない場合は、いったん本製品をパソコンから取り外した（▶P.12）あと、もう一度取り付け（▶P.11）直してください。（本製品を認識していない場合があります。）

操作手順、操作画面はWindows Vistaを例としています。

ソフトウェアをインストールする

インストール中に本製品をパソコンから取り外さないでください。インストールが正常に行われなかったり、システムがダウンしたり、その他の異常を起こしたりするおそれがあります。

1 パソコンの電源を入れ、管理者（Administrator）権限でログオンする

2 本製品をパソコンに取り付け（▶P.11）、「ユーザーアカウント制御」画面で「許可」をクリックする

memo

◎ Windows XPの場合またはWindows VistaおよびWindows 7において「ユーザーアカウント制御」を無効にした場合は、「ユーザーアカウント制御」画面は表示されませんので、次の手順に進んでください。

自動的にドライバがインストールされ、続いてユーティリティーのインストール準備が進行します。

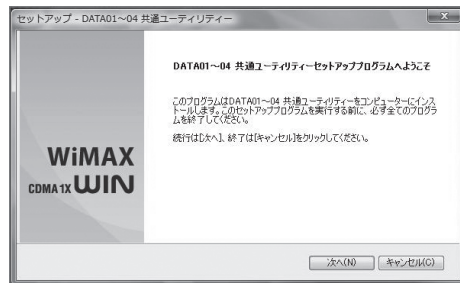
準備が終わると、セットアップウィザード画面が表示されます。

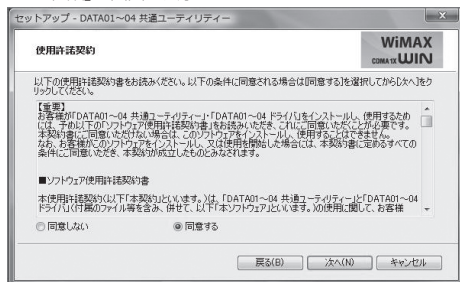
memo

◎ 本製品をパソコンに取り付けた状態でスタンバイ（サスペンド）、休止（ハイバネーション）、または、ノートパソコンの蓋開閉を行うと、正常に本製品が動作をしない場合があります。その場合には、本製品の抜き差しまたはパソコンの再起動を行ってください。必ず本製品を取り外してから、スタンバイ、休止、ノートパソコンの蓋開閉を行ってください。また、本製品を取り付けた状態で、再起動や電源を入れると正常に動作しない場合があります。この場合も、パソコンを起動する前に本製品を取り外してください。

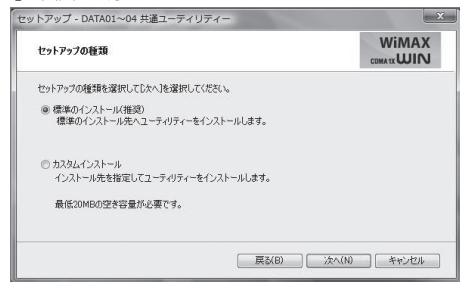
◎ ご使用のパソコンのOSが英語版の場合は、インストーラが英語表示となり、自動的に英語版のユーティリティーがインストールされます。

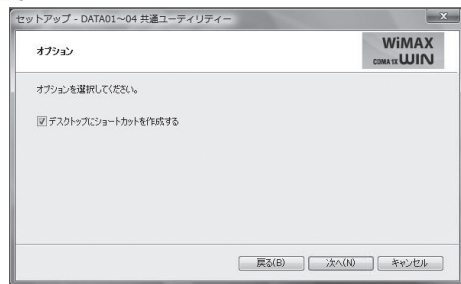
◎ 設定により「自動再生」画面が表示される場合があります。画面が表示されたら「ソフトウェアとゲームに対して常に次の動作を行う：」にチェックを入れて「Launcher.exeの実行」を選択してください。

3 セットアップウィザード画面で「次へ」をクリックする

4 「使用許諾契約書」を確認後、「同意する」にチェックを入れ、「次へ」をクリックする

「セットアップの種類」の画面が表示されます。

5 「標準のインストール(推奨)」がチェックされていることを確認して、「次へ」をクリックする

「オプション」の画面が表示されます。

◎「カスタムインストール」にチェックを入れた場合は、次に「インストールフォルダの選択」画面が表示され、インストール先のフォルダを変更できます。

6 「次へ」をクリックする

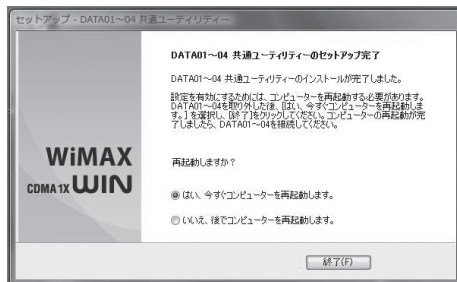
「デスクトップにショートカットを作成する」にチェックを入れると、インストール完了後にデスクトップにショートカットが作成されます。このショートカットをダブルクリックして簡単にユーティリティーを起動することができます。

memo

◎Windows XP日本語版で「地域と言語」を英語に設定した場合、英語のインストーラーが起動しますが、この場合のみ「Create a shortcut on the desktop」にチェックを入れてもデスクトップショートカットとスタートメニューのDATA01-04フォルダが作成されません。その場合は[Cancel]をクリックし、インストール中断画面で[Yes]をクリックしていったんインストールを終了してください。「地域と言語」で日本語を選択してから、「ソフトウェアをインストールする」を最初からやり直してください。Windows XP日本語版で、英語のインストーラが起動したためデスクトップショートカットとスタートメニューのDATA01-04フォルダが作成されなかった場合は、「ソフトウェアのアンインストール」を行い、「地域と言語」で日本語を選択してから、再インストールを行ってください。その際、オプション画面で「デスクトップにショートカットを作成する」にチェックを入れて、再インストールしてください。

7 「次へ」をクリックする

インストールが開始され、ユーティリティーがインストールされます。

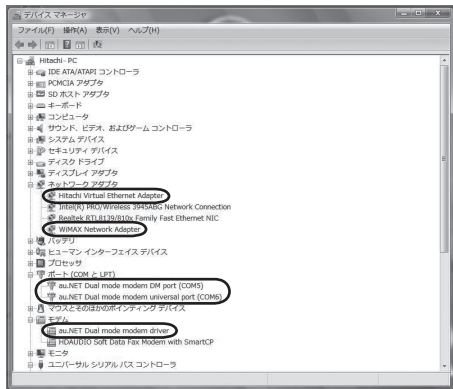
8 本製品をパソコンから取り外し(▶P.12)、「終了」をクリックする

パソコンが再起動します。

パソコンが再起動したら、本製品を取り付けてください。
以上でソフトウェアのインストールはすべて終了します。
ユーティリティーを表示(▶P.19)させてインターネット接続が可能となります。

memo

◎ インストール実行中に「自動再生」画面が表示される場合があります。画面が表示されたら「ソフトウェアとゲームに対して常に次の動作を行う：」にチェックを入れて「Launcher.exeの実行」を選択してください。

■インストール結果の確認について

ソフトウェアのインストールが完了し、パソコンが再起動したら本製品をパソコンに差し込んでください。ユーティリティーの状態表示が「アプリケーションの初期化中です・・・」から「デバイスの初期化中です…」と表示し、「接続ボタンを押してください。」に変わったことを確認してください。
次に［スタート］メニューの［コンピュータ］を右クリックして［プロパティ］を開き、「デバイスマネージャ（M）」をクリックしてください。正しくインストールされた場合は次の画面のように表示されます。
なお、COMの番号はパソコンの環境によって異なります。

デバイス名	ドライバ名
ポート （COMとLPT）	au.NET Dual mode modem DM port au.NET Dual mode modem universal port
モデム	au.NET Dual mode modem driver
ネットワークアダプタ	Hitachi Virtual Ethernet Adapter WiMAX Network Adapter

◎Windows XPの場合は、［スタート］メニューの［マイコンピュータ］を右クリックして、［プロパティ］を開き、［ハードウェア］タブ内の［デバイスマネージャ］をクリックしてください。
◎本製品を接続中は、Windowsの［デバイスマネージャ］からハードデバイスの環境変更を行わないでください。環境変更を行った場合、動作保証はいたしません。必ずユーティリティー設定画面で設定してください。

ユーティリティー操作ガイド

ユーティリティーを使用することで簡単に接続先にアクセスしたり、接続先を変更·管理したりできます。また、通信履歴の確認を行うことができます。

ユーティリティーを表示する

1 パソコンの電源を入れる

ユーティリティー操作画面が自動的に表示されます。

2 本製品をパソコンに取り付ける

memo

◎ユーティリティーを実行する場合に、ウィルスチェックソフトによりウィルスチェックの対象として認識される場合があります。この場合、ウィルスチェックソフトの指示に従って「DATA01-04_Utility.exe」、「HID_service.exe 」、「DDI_Service.exe」「devcon.exe」、「bindview.exe」、「bind_del.exe」は、「ウィルスチェックの対象外として許容する」設定を行ってください。

◎Windows VistaおよびWindows 7では管理者(Administrator)権限が必要な操作(OS起動時のユーティリティー自動起動の有効/無効の切替)をする場合は、DATA01～04 共通ユーティリティーアイコンを右クリックして「管理者として実行」を選択してユーティリティーを起動する必要があります。

◎デスクトップにショートカットを作成しなかった場合は、[スタート]→[すべてのプログラム](または[プログラム])→[DATA01-04]→[DATA01～04 共通ユーティリティー]の順にクリックして起動させてください。

◎「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「続行」をクリックしてください。

◎ユーティリティー操作画面の機能設定画面(▶P.25)で、パソコンを起動したときに自動的にユーティリティーを起動させるかどうかの設定を行うことができます。

ユーティリティーを終了する

1 ユーティリティーを終了する場合は、通信していないことを確認後、ユーティリティーのタスクトレイアイコン(▶P.20「タスクトレイアイコンについて」)を右クリックし、「終了する」ボタンをクリックする

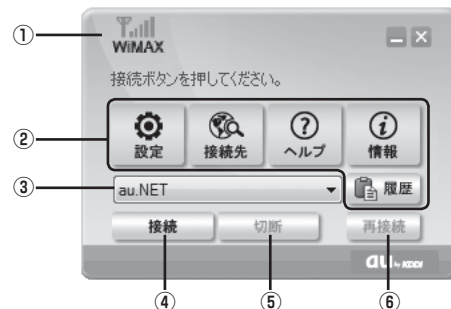
終了確認画面が表示されますので、「OK」をクリックしてください。

ユーティリティー操作画面について

ユーティリティー操作画面では、ネットワークへの接続や各種設定を行うことができます。

ユーティリティー操作ガイド

① **通信状態アイコン**

アイコン	状態
WiMAX、WiMAX、WiMAX、WiMAX、WiMAX、WiMAX	WiMAX通信時の電波強度(6段階)
WIN、WIN、WIN、WIN	CDMA 1X WIN通信時の電波強度(4段階)
WIN、WIN、WIN、WIN	CDMA 1X通信時の電波強度(4段階)
圏外	圏外 サービスエリア外です。
	本製品がパソコンに取り付けられていません。

※本製品がパソコンに取り付けられているときは、タスクトレイでも通信状態を確認できます。

② **各ボタン**

ボタン	内容
設定	ユーティリティーの表示や通信などの基本設定を行います。(▶P.25「各種機能を設定する」)
接続先	接続先の「追加」/「編集」/「削除」/「既定に設定」を行います。(▶P.22「接続先を追加・編集・削除する」)
ヘルプ	本製品のFAQを確認できます。(▶P.27「FAQを確認する」)
情報	接続情報/バージョン情報を確認します。
履歴	通信履歴を確認します。(▶P.24「通信履歴を確認する」)

③ **接続先名**

接続先を複数設定した場合は、プルダウンメニューを表示して接続先を選択できます。

④ **接続ボタン**

「③接続先名」で選択した接続先にアクセスします。
(▶P.21「インターネットにアクセスする」)

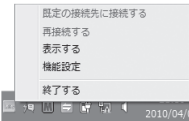
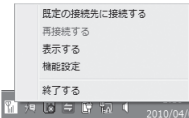
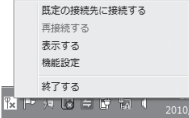
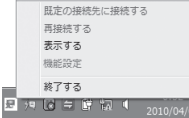
⑤ **切断ボタン**

ネットワークへの接続を切断します。

⑥ **再接続ボタン**

ネットワークに再接続します。「ネットワーク接続設定」(▶P.27、⑥)が「WiMAX/CDMA 1X WIN自動切替」に設定されているときに、「再接続ボタン」を押すと自動的に最適な通信モードに切り替えて再接続します。

memo

◎ 1台のパソコンを複数ユーザーアカウントで使用する場合、現在ユーティリティーを使用しているユーザーアカウントをログオフしてから使用してください。
◎ ユーティリティー起動中の画面に「アプリケーションの初期化中です…」および「デバイスの初期化中です…」と表示されているときは、本製品をパソコンから抜かないでください。
◎ ユーティリティーを終了するときは、本製品をパソコンから抜かないでください。

タスクトレイアイコンについて

タスクトレイアイコンは通信状態の表示を行います。

タスクトレイアイコンをダブルクリックするとユーティリティー操作画面を表示/非表示させることができます。
タスクトレイアイコンを右クリックすることで、メニューが表示され、ユーティリティーの一部機能の操作が可能になります。

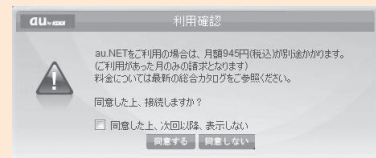
タスクトレイアイコン	説明	ポップアップメニュー
	本製品初期化中	既定の接続先に接続する 再接続する 表示する 機能設定 終了する
※1 ※2	ネットワーク未接続 （本製品を認識し、圏内）	既定の接続先に接続する 再接続する 表示する 機能設定 終了する
	ネットワーク未接続 （本製品を認識し、圏外）	既定の接続先に接続する 再接続する 表示する 機能設定 終了する
	ネットワーク未接続 （本製品を未認識）	既定の接続先に接続する 再接続する 表示する 機能設定 終了する
※1 ※3	ネットワーク接続中	切断する 再接続する 表示する 機能設定 終了する

※1 アンテナの本数はWiMAXで0～5本、CDMA 1X WINおよびCDMA 1Xでは0～3本表示されます。
※2 アイコンの背景色は白になります。
※3 アイコンの背景色は水色になります。

インターネットにアクセスする

本製品は付属しているユーティリティーでのみネットワークへの接続が可能です。OS付属のアプリケーションではネットワークへの接続ができませんので、必ずユーティリティーを使用してください。
ユーティリティー操作画面で接続ボタンをクリックすると、既定の接続先にアクセスします。
接続先にはあらかじめ「au.NET」（ご利用月のみ月額945円（税込））が設定されています。au.NETで接続する場合は、接続先の設定などの設定は不要です。
au.NETをご利用の場合は月額945円（税込）が別途かかります（ご利用があった月のみのご請求となります）。料金については最新の総合カタログ／auホームページをご参照ください。
接続先に他のプロバイダを選択する場合は、接続先を追加設定（▶P.22「接続先を追加・編集・削除する」）しておき、ユーティリティー操作画面でプルダウンで接続先を選択して接続ボタンをクリックします。

memo

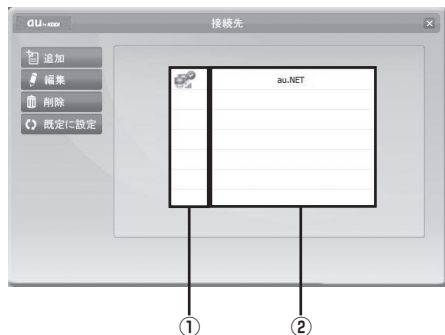
◎ au.NETで接続する場合は、ご利用月のみ月額945円（税込）が発生するため、接続時に注意喚起画面が表示されます。この注意喚起画面は「各種機能を設定する」の「⑤au.NET利用確認表示」（▶P.25）でも、「表示しない」に設定できます。

◎ WiMAX接続においてIDまたはパスワード誤りにより接続エラーが発生した場合、1分以上経過しないと「接続に失敗しました」のエラーメッセージが表示されません。

接続先を追加・編集・削除する

au.NET以外のプロバイダをご利用になる場合は、ユーティリティー操作画面で「接続先」をクリックします。事前にご利用になられる他のプロバイダの設定情報（▶P.23、操作3の表をご参照ください）を入手しておいてください。

接続先を追加する

1 ユーティリティー操作画面（▶P.19）で「接続先」をクリックする

接続先画面が表示されます。

■接続先画面

① 接続先の設定状態アイコン

アイコン	接続先の設定（接続）状態
	既定の接続先に設定（接続中）
	既定の接続先に設定（未接続）
	既定の接続先に設定していない接続先（接続中）
	既定の接続先に設定していない接続先（未接続）

② 接続先名称

memo

◎接続先にダイレクトに接続可能なショートカットを作成するショートカット機能があります。操作1の接続先画面「②接続先名称」を右クリックし、「デスクトップ上にショートカットを作成」をクリックしてショートカットを作成してください。

2 「追加」をクリックする

接続先設定画面（基本設定）が表示されます。

3 基本設定タブと高度な設定タブに必要な情報を入力する

■接続先設定画面(基本設定)

■接続先設定画面(高度な設定)

タブ	項番	設定内容
基本設定	①	接続先名:(任意文字)(最大半角30文字入力可能)
	②	ダイヤル番号:(ご利用になるプロバイダ情報を入力)(最大半角30文字入力可能)
	③	ユーザー名:(ご利用になるプロバイダ情報を入力)(最大半角67文字入力可能)
	④	パスワード:(ご利用になるプロバイダ情報を入力)(最大半角30文字入力可能)
	⑤	パスワードの保存:このユーザーのみ/このコンピュータを使うすべてのユーザー
高度な設定	⑥	認証プロトコル設定:CHAP/PAP
	⑦	DNS設定:自動設定/手動設定(ご利用になるプロバイダが指定した優先DNSサーバおよび代替DNSサーバIPアドレスの入力)
	⑧	WINS設定:自動設定/手動設定(ご利用になるプロバイダが指定した優先WINSサーバおよび代替WINSサーバIPアドレスの入力)
	⑨	PPPリンクIPヘッダーの圧縮:利用する/利用しない

memo

◎「接続先名」には(¥ / : * ? ” 〈 〉 | および半角スペース単独)は使用できません。

◎ au.NETの場合は項番①~⑨まですべて設定されていますが、項番⑨のみ変更が可能です。

4 「適用」をクリックする

5 「OK」をクリックする

以上で接続先の設定が終了して、接続先画面に追加した接続先が表示されます。

追加した接続先を既定の接続先に設定する場合は、接続先画面で接続先を選択して「既定に設定」をクリックします。

接続先を編集する

1 接続先画面（▶P.22）で編集したい接続先名を選択し、「編集」をクリックする

2 基本設定タブと高度な設定タブ（▶P.23）に新たな情報を入力する

3 「適用」をクリックする

4 「OK」をクリックする

以上で接続先の編集が終了しました。

接続先を削除する

1 接続先画面（▶P.22）で削除したい接続先名を選択し、「削除」をクリックする

削除確認画面が表示されます。

2 「OK」をクリックする

以上で接続先の削除が終了しました。

既定に設定する

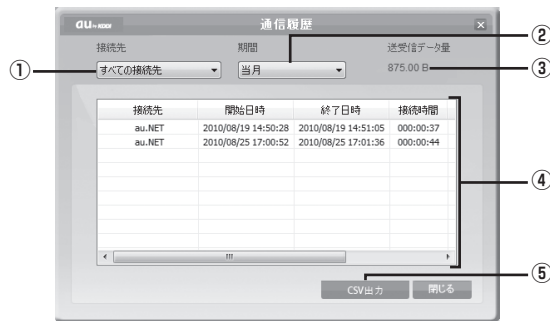
1 接続先画面（▶P.22）で既定に設定したい接続先名を選択し、「既定に設定」をクリックする

「既定に設定」に設定した接続先は、表示順序が最上部に表示されます。

通信履歴を確認する

接続先への接続時間／開始日時／終了日時／送信データ量／受信データ量の集計などを確認することができます。

1 ユーティリティー操作画面（▶P.19）で「履歴」をクリックする

通信履歴画面が表示されます。

■通信履歴画面

ユーティリティー操作ガイド

① **接続先**

通信履歴を確認したい接続先、または「すべての接続先」から選択できます。

・初期値は「すべての接続先」となっています。

② **期間**

当月／先月／先々月から選択できます。

・初期値は「当月」となっています。

③ **送受信データ量**

選択された接続先に、選択された期間内に通信した送受信データ量の合計値が表示されます。

※接続時間や送受信データ量の数値は目安です。実際のものとは異なる場合があります。

④ **通信履歴の詳細表示**

データ通信を行った接続先･開始日時･終了日時･接続時間･送信データ量･受信データ量を表示します。

※接続時間や送受信データ量の数値は目安です。実際のものとは異なる場合があります。

⑤ **CSV出力**

表示した内容をCSV形式のファイルに保存します。

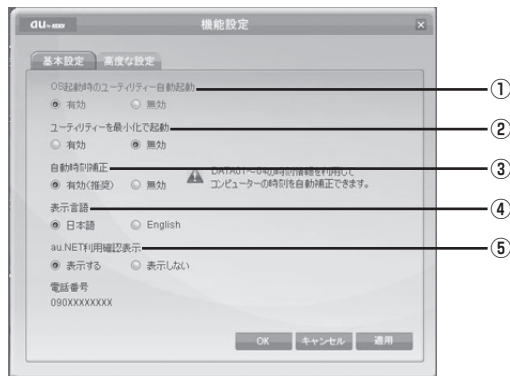
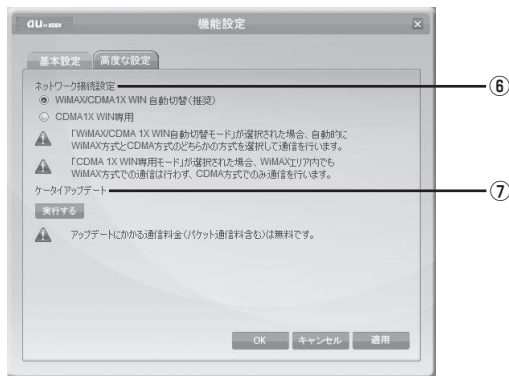
各種機能を設定する

各種機能設定を行います。

1 ユーティリティー操作画面（▶P.19）で「設定」をクリックする

機能設定画面が表示されます。

■機能設定画面（基本設定）

ユーティリティー操作ガイド

■機能設定画面（高度な設定）（Windows Vistaおよび Windows 7）

■機能設定画面（高度な設定）（Windows XP）

タブ	項番	項目名	設定内容
基本設定	①	OS起動時のユーティリティー自動起動	パソコンを起動したときに自動的にユーティリティーを起動させるかどうかを設定します。 [有効][無効] • 本設定を変更できるのは、以下のとおりです。 Windows XPの場合 管理者（Administrator）権限ユーザー Windows Vistaの場合 「ユーザーアカウント制御」を無効にした管理者（Administrator）権限ユーザー （注）「ユーザーアカウント制御」を有効にした管理者（Administrator）権限ユーザーおよび制限ユーザーについては、「管理者として実行」を選択し、ユーティリティーを起動した場合は設定可能となります。 Windows 7の場合 管理者（Administrator）権限ユーザー （注）制限ユーザーは「管理者として実行」を選択し、ユーティリティーを起動した場合は設定可能となります。
	②	ユーティリティーを最小化で起動	ユーティリティーを起動したときにユーティリティー操作画面を表示しないで、タスクトレイアイコンでの表示のみにするかどうかを設定します。 [有効][無効]

タブ	項番	項目名	設定内容
基本設定	③	自動時刻補正	パソコンの表示時刻を補正するかどうかを設定します。 [有効(推奨)][無効] • パソコンの内部時間が日本時間と違っていた場合、WiMAX接続ができなくなる場合があります。
	④	表示言語	ユーティリティー操作画面の表示言語を設定します。 [日本語][English] • この設定を変更すると、自動的にユーティリティーが再起動されます。
	⑤	au.NET利用確認表示	[表示する][表示しない]
高度な設定	⑥	ネットワーク接続設定	ネットワークへの接続方法を設定します。 [WiMAX/CDMA 1X WIN自動切替(推奨)][CDMA 1X WIN専用] •「WiMAX/CDMA 1X WIN自動切替モード」が選択された場合、自動的にWiMAX方式とCDMA方式のどちらかの方式を選択し通信を行います。 ※CDMA 1X WIN専用モードよりも接続に時間がかかる場合があります。 •「CDMA 1X WIN専用モード」が選択された場合、WiMAXエリア内でもWiMAX方式での通信は行わず、CDMA方式でのみ通信を行います。 • この設定を変更すると、自動的にユーティリティーが再起動されます。

タブ	項番	項目名	設定内容
高度な設定	⑦	ケータイアップデート	本製品内部のソフトウェアのアップデートがある場合に、「実行する」をクリックします。 • アップデートにかかる通信料金(パケット通信料を含む)は無料です。
	⑧	受信バッファサイズ(RWIN)(Windows XPでのみ表示)	十分な通信速度が得られないときなどに、パソコン側(Windows XP)の受信バッファサイズを変更して対応できる場合があります。 [OS初期値][CDMA通信最適値][WiMAX通信最適値] [任意設定](任意設定範囲は8760~65535バイト) [Scale Option] (任意設定範囲は0~3) • この設定を有効にするには、パソコンを再起動する必要があります。

2 **「適用」をクリックする**

3 **「OK」をクリックする**

設定操作は完了しますが、設定内容によってはパソコンを再起動することにより有効になるものがあります。

FAQを確認する

本製品に関するFAQを確認することができます。
オンラインでFAQを確認する場合にはパケット通信料がかかります。au.NETをご利用の場合は、ご利用月のみ月額945円(税込)が別途かかります。

1 ユーティリティー操作画面（▶P.19）で「ヘルプ」をクリックする

オフライン状態で閲覧できるFAQが表示されます。また、オンラインでFAQをご覧になりたい場合は、FAQをクリックしてください。

memo

◎通信中は、ユーザーの選択によりFAQから本製品の専用サイトを表示します。（オンラインFAQ閲覧可能）

ケータイアップデート：ソフトウェアを更新する

本製品はケータイアップデートに対応しています。
ケータイアップデートは本製品内部のソフトウェアを更新する機能です。（ユーティリティーの更新は行いません。）ケータイアップデートが必要かどうかをネットワークに接続して確認できます。
ケータイアップデートは「CDMA 1X WIN専用」の設定時のみ実行することができます。「ネットワーク接続設定」が「WiMAX／CDMA 1X WIN自動切替（推奨）」の場合は実行できません。WiMAX方式ではケータイアップデートは実行できません。

memo

◎ユーティリティーのアップデートにつきましては、以下の日立製作所のホームページからダウンロードしてご利用ください。
http://www.hitachi.co.jp/products/it/network/product/mobile/mobilecard/index.html
◎インターネット接続中はご利用いただけません。ご確認の前にインターネットを切断してください。
◎更新中にパソコンの電源がなくなり処理が中断しないように、ケータイアップデートを始める前に、パソコンのAC電源を接続してください。
◎ケータイアップデート中は、本製品を取り外さないでください。
◎開始後は完了するまで中止できません。

1 インターネット接続中の場合は接続を切断し、待機中の状態にする

2 ユーティリティー操作画面（▶P.19）で「設定」をクリックする

機能設定画面が表示されます。

3 高度な設定タブをクリックする

4 「ネットワーク接続設定」が「CDMA 1X WIN専用」になっていることを確認してから、「ケータイアップデート」→「実行する」をクリックする

利用確認画面が表示されます。

memo

◎「ネットワーク接続設定」が自動切替の場合は、「CDMA 1X WIN専用」に変更し、ユーティリティーを再起動後、手順1から実施してください。

5 「OK」をクリックする

自動的にインターネット経由で更新サーバに接続され、更新の確認が始まります。
更新がある場合はアップデートを開始します。画面の指示に従って操作してください。

memo

◎ケータイアップデートが完了したら、手順1からもう1度手順3までを行い、手順4の「ネットワーク接続設定」で希望の接続設定に変更して、ユーティリティーを再起動してください。
◎ソフトウェアの更新にかかわる情報料・通信料は無料です。
◎ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容については、auショップもしくはauお客様センター(157/通話料無料)までお問い合わせください。
◎電波状況を確認してください。電波の受信状況が悪い場所では、ソフトウェアの更新に失敗することがあります。
◎ソフトウェアが更新された後で、自動的に次の更新用ソフトウェアのダウンロードが開始される場合があります(連続更新)。
◎ソフトウェアの更新には時間がかかることがあります。
◎更新中は通信が不安定にならないようパソコンの移動は行わないでください。
◎ソフトウェアの更新に失敗した場合、本製品は使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップやPiPit(一部店舗除く)にお持ちくださいますよう、お願いいたします。

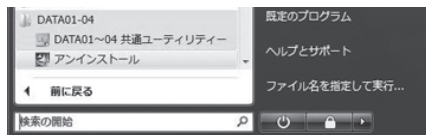
ソフトウェアのアンインストール

Windows OSでのアンインストール

ソフトウェアが不要になった場合は、管理者（Administrator）権限でパソコンにログオンし、ユーティリティーを終了させて、次の操作で削除してください。ソフトウェアをアンインストールすると、ドライバもアンインストールされます。

◎ソフトウェアをアンインストールすると、お客様が追加、編集した接続先情報も消去されます。大切な接続先情報は、メモに残すなどバックアップをしてください。

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［DATA01-04］→［アンインストール］の順にクリックする

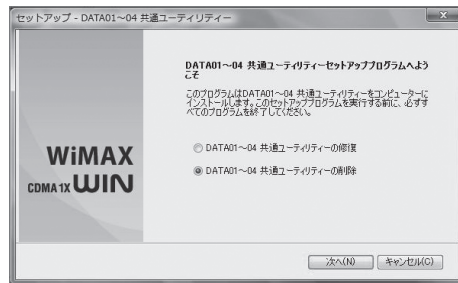
「ユーザーアカウント制御」の注意画面が表示されます。
Windows XPの場合は操作3へ進んでください。

◎Windows XPの場合で、［スタート］メニューのプロパティのクラシック［スタート］メニューを選択している場合は、［スタート］→［プログラム］→［DATA01-04］→［アンインストール］の順にクリックしてください。

2 「ユーザーアカウント制御」画面で「許可」をクリックする

インストーラ画面が表示されます。
「キャンセル」をクリックすると、アンインストールが中止されます。

◎Windows XPの場合またはWindows VistaおよびWindows 7において「ユーザーアカウント制御」を無効にした場合は「ユーザーアカウント制御」画面は表示されませんので、次の手順に進んでください。

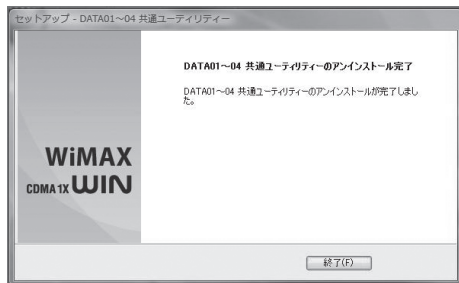
3 「DATA01～04 共通ユーティリティーの削除」をチェックして「次へ」をクリックする

アンインストールの確認画面が表示されます。

◎アンインストールは「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」（クラシック表示では、「プログラムと機能」）、Windows XPの場合は「プログラムの追加と削除」から行うこともできます。
◎操作3で、「DATA01～04 共通ユーティリティーの修復」にチェックを入れて「次へ」をクリックすると、ソフトウェアおよびドライバの修復を行うことができます。

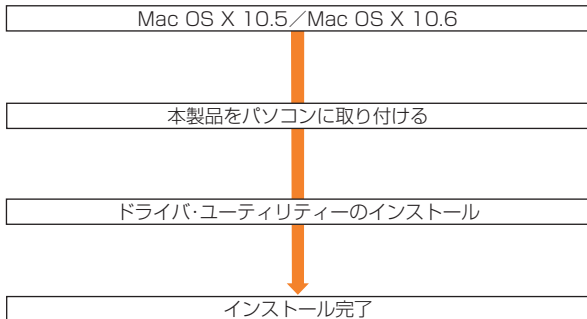
4 本製品をパソコンから取り外してから、「はい」をクリックする

アンインストールが開始され、終了すると完了画面が表示されます。

◎本製品が接続されていない場合、「DATA01～04 共通ユーティリティーをアンインストールしますか？」というメッセージが表示されます。

5 「終了」をクリックする

Mac版

ソフトウェアのインストール

ソフトウェアのインストールは次のような流れになります。

- ●インストールが終了すると接続先の初期値として「au.NET」が登録されます。「au.NET」をご利用の場合は月額945円（ご利用があった月のみご請求）となります。
- ●他の対応プロバイダをご利用の場合はインストール終了後、ユーティリティー（▶P.38）で接続先の変更（▶P.41）を行ってください。

Mac OSへのインストール

インストールしたソフトウェアを使用してネットワークへの接続や設定を行うことができます。
操作手順、操作画面はMac OS X 10.6を例としています。

ソフトウェアをインストールする

インストール中に本製品をパソコンから取り外さないでください。インストールが正常に行われなかったり、システムがダウンしたり、その他の異常を起こしたりするおそれがあります。

1 パソコンの電源を入れ、OSを起動する

ユーザー名を選択し、パスワードを入力して、ENTERキーを押すか「ログイン」ボタンを押してください。

memo

◎Mac OS X 10.6 Snow Leopardにおいて、ログインウィンドウにユーザー名とパスワードを入力した後に、次の警告が表示されることがあります。

「ログインキーチェーンのロックを解除できませんでした。」
（「Continue login」「新しいキーチェーンを作成」「キーチェーンパスワードをアップデート」の3つのボタンが一緒に表示されます。）

これは、ログインキーチェーンパスワードまたはユーザーパスワードを変更した場合に、Mac OS X 10.6インストールから起動しているときに起こる可能性があります。
「Continue login」をクリックすると、ログインキーチェーンとユーザーパスワードは現状のままとなり、警告は表示され続けます。
「新しいキーチェーンを作成」または「キーチェーンパスワードをアップデート」をクリックすると、ログイン時の警告は表示されなくなります。

◎ルートユーザーでは、ソフトウェアをインストールしないでください。また、ルートユーザー権限で本ソフトウェアを使用しないでください。サポートされておりません。

2 本製品をパソコンに取り付ける（▶P.11）

デスクトップの💿「DATA01-04 Software」をダブルクリックし、「Macintosh」フォルダをダブルクリックしてください（ご使用のパソコンによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります）。

3 「DATA01-04 Standard Utility Installer」をダブルクリックする

インストーラが起動し、ソフトウェアのインストールを開始します。

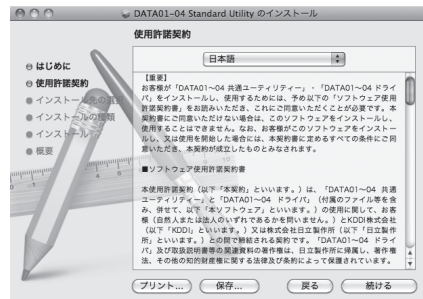
◎お使いのパソコン状況によっては、拡張子が表示される場合があります。

4 「続ける」をクリックする

「ようこそ DATA01-04 Standard Utility インストーラへ」画面が表示されます。

「続ける」をクリックします。
「使用許諾契約」画面が表示されます。

5 「使用許諾契約」を確認後、「続ける」をクリックする

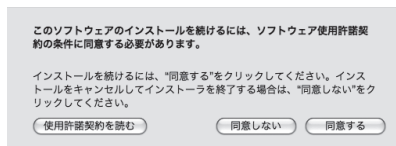
「使用許諾契約」画面が表示されます。

使用許諾契約書を確認して、「続ける」をクリックします。
使用許諾契約の同意画面が表示されます。

6 「同意する」をクリックする

使用許諾契約に同意してインストールするには、「同意する」をクリックします。

このソフトウェアのインストールを続けるには、ソフトウェア使用許諾契約の条件に同意する必要があります。

インストールを続けるには、"同意する"をクリックしてください。インストールをキャンセルしてインストーラを終了する場合は、"同意しない"をクリックしてください。

使用許諾契約を読む　同意しない　同意する

「インストール先の選択」の画面が表示されます。

7 「続ける」をクリックする

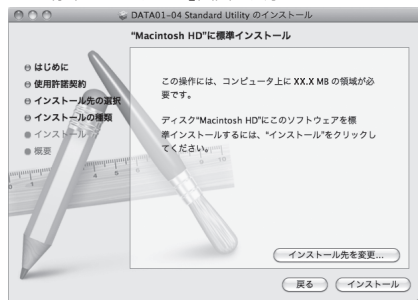
標準では、ディスク「Macintosh HD」にインストールすることになります。

memo

◎「Macintosh HD」はお使いになっているパソコンのハードディスクの名称です。お客様がお使いのパソコンの設定などによって表示される名称は異なります。

◎Mac OS X 10.5では、「インストール先の選択」の画面は表示されませんので、次の手順に進んでください。

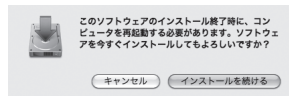
8 「インストール」をクリックする

「"Macintosh HD"に標準インストール」画面が表示されます。

このとき、インストール容量の確認が表示されますので、空き容量を確認後「インストール」をクリックします。
認証の画面が表示されます。

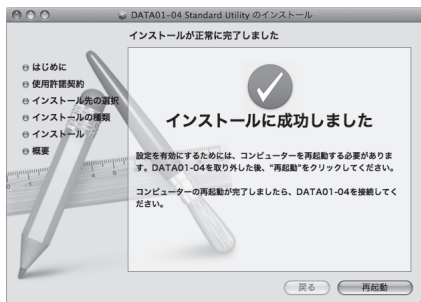
memo

◎お使いになるソフトウェアのバージョンにより、インストールに必要な容量は異なりますので、インストール先の空き容量をご確認のうえ、インストール作業を進めてください。

9 管理者の名前（ユーザー名）とパスワードを入力し、「OK」をクリックする

10 「インストールを続ける」をクリックする

インストールが開始されます。
インストールが完了するとインストール完了画面が表示されます。

11 本製品をパソコンから取り外し、「再起動」をクリックする

パソコンが再起動します。

以上でMac OSへのインストールはすべて終了しました。

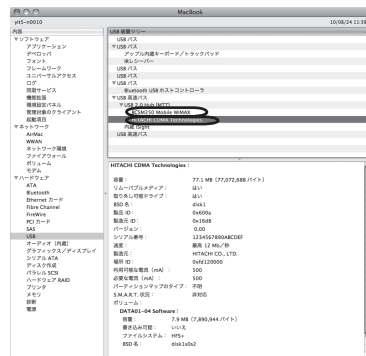
◎「新しいネットワークインターフェイスが検出されました」と表示される場合があります。その場合は、「ネットワーク環境設定」ボタンをクリックした後、「ネットワーク画面」で「適用」をクリックしてください。

■インストール結果の確認について

1 「Finder」→「アプリケーション」とクリックする

「DATA01～04 共通ユーティリティー」が表示されます。また、Dockに「DATA01～04 共通ユーティリティー」アイコンが表示されます。

2 「Macintosh HD」→「アプリケーション」→「ユーティリティ」→「システムプロファイラ」とクリックし、その中のUSB装置ツリーで装置が認識されているか確認する

正しくインストールされた場合は下の画面のように表示されます。
システムプロファイラの画面を表示するタイミング(初期化中)により、USB高速バスなどが表示されない場合があります。その際は、メニューバーの「表示」の更新を選択すると表示されます。

デバイス名	ドライバ名
USB 2.0 Hub [MTT]	BCSM250 Mobile WiMAX HITACHI CDMA Technologies

memo

◎Macには、アプリケーションなどにすばやくアクセスできるDockがあるため、ユーティリティーを起動するためにエイリアスをデスクトップ上に作成するのではなく、Dockに登録します。Dockへの登録は、インストール後に登録されます。ただし、ルートユーザーおよびゲストユーザーはインストール後にDockにアイコンが登録されません。また、インストール後にアカウントを作成したユーザーもDockにアイコンが登録されません。

ユーティリティー操作ガイド

ユーティリティーを使用することで簡単に接続先にアクセスしたり、接続先を変更･管理したりできます。また、通信履歴の確認を行うことができます。

ユーティリティーを表示する

1 パソコンの電源を入れる

ユーティリティー操作画面が自動的に表示されます。

2 本製品をパソコンに取り付ける

memo

◎ユーティリティー操作画面が自動的に表示されない場合は、
- ･「Dock」に並んでいるアイコンから、「DATA01～04 共通ユーティリティー」をクリックする。
- ･「Macintosh HD」→「アプリケーション」→「DATA01～04 共通ユーティリティー」をダブルクリックする。

上記のうち、いずれかを行い、ユーティリティーを起動してください。
「Macintosh HD」はお使いになっているパソコンのハードディスクの名称です。お客様がお使いのパソコンの設定などによって表示される名称は異なります。

◎ユーティリティー操作画面の機能設定画面(▶P.44)で、パソコンを起動したときに自動的にユーティリティーを起動させるかどうかの設定を行うことができます。

ユーティリティーを終了する

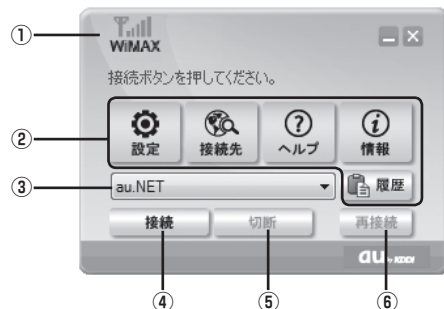
1 ユーティリティーを終了する場合は、通信していないことを確認後、画面左上のメニューバーにある「DATA01～04 共通ユーティリティー」をクリックし、プルダウンメニューから「DATA01～04 共通ユーティリティーを終了」を選択する

終了確認画面が表示されますので、「OK」をクリックしてください。

ユーティリティー操作画面について

ユーティリティー操作画面では、ネットワークへの接続や各種設定を行うことができます。

① **通信状態アイコン**

アイコン	状態
WiMAX、WiMAX、WiMAX、WiMAX、WiMAX、WiMAX	WiMAX通信時の電波強度(6段階)
WIN、WIN、WIN、WIN	CDMA 1X WIN通信時の電波強度(4段階)
WIN、WIN、WIN、WIN	CDMA 1X通信時の電波強度(4段階)
圏外	圏外 サービスエリア外です。
	本製品がパソコンに取り付けられていません。

※本製品がパソコンに取り付けられているときは、メニューバーアイコンでも通信状態を確認できます。

② **各ボタン**

ボタン	内容
設定	ユーティリティーの表示や通信などの基本設定を行います。(▶P.44「各種機能を設定する」)
接続先	接続先の「追加」/「編集」/「削除」/「既定に設定」を行います。(▶P.41「接続先を追加・編集・削除する」)
ヘルプ	本製品のFAQを確認できます。(▶P.46「FAQを確認する」)
情報	接続情報/バージョン情報を確認します。
履歴	通信履歴を確認します。(▶P.43「通信履歴を確認する」)

③ **接続先名**

接続先を複数設定した場合は、プルダウンメニューを表示して接続先を選択できます。

④ **接続ボタン**

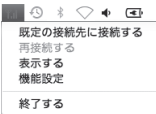
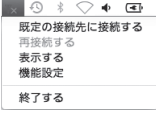
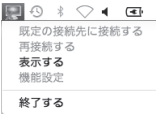
「③接続先名」で選択した接続先にアクセスします。
(▶P.40「インターネットにアクセスする」)

⑤ **切断ボタン**

ネットワークへの接続を切断します。

⑥ **再接続ボタン**

ネットワークに再接続します。「ネットワーク接続設定」(▶P.45、⑥)が「WiMAX/CDMA 1X WIN自動切替」に設定されているときに、「再接続ボタン」を押すと自動的に最適な通信モードに切り替えて再接続します。

memo

◎1台のパソコンを複数ユーザーアカウントで使用する場合、現在ユーティリティーを使用しているユーザーアカウントをログアウトしてから使用してください。
◎ユーティリティー起動中の画面に「アプリケーションの初期化中です…」および「デバイスの初期化中です…」と表示されているときは、本製品をパソコンから抜かないでください。
◎ユーティリティーを終了するときは、本製品をパソコンから抜かないでください。

メニューバーアイコンについて

メニューバーアイコンは、通信状態の表示を行います。
メニューバーアイコンをダブルクリックすると、ユーティリティー操作画面を表示/非表示させることができます。
メニューバーアイコンをクリックすることで、メニューが表示され、ユーティリティーの一部機能の操作が可能になります。

メニューバーアイコン	説明	プルダウンメニュー
	本製品初期化中	既定の接続先に接続する 再接続する 表示する 機能設定 終了する ※2

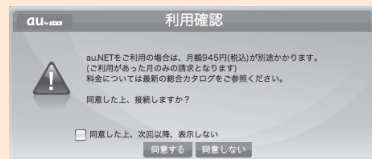
メニューバーアイコン	説明	プルダウンメニュー
※1	ネットワーク未接続 (本製品を認識し、圏内)	既定の接続先に接続する 再接続する 表示する 機能設定 終了する ※2
	ネットワーク未接続 (本製品を認識し、圏外)	既定の接続先に接続する 再接続する 表示する 機能設定 終了する ※2
	ネットワーク未接続 (本製品を未認識)	既定の接続先に接続する 再接続する 表示する 機能設定 終了する ※2
※1 ※3	ネットワーク接続中	切断する 再接続する 表示する 機能設定 終了する ※2

※1 アンテナの本数はWiMAXで0～5本、CDMA 1X WINおよびCDMA 1Xでは0～3本表示されます。
※2 ユーティリティー操作画面が表示されている場合、「表示する」は、グレーアウトします。
※3 アイコンの背景色は水色になります。

インターネットにアクセスする

本製品は付属しているユーティリティーでのみネットワークへの接続が可能です。OS付属のアプリケーションではネットワークへの接続ができませんので、必ずユーティリティーを使用してください。
ユーティリティー操作画面で接続ボタンをクリックすると、既定の接続先にアクセスします。
接続先にはあらかじめ「au.NET」(ご利用月のみ月額945円(税込))が設定されています。au.NETで接続する場合は、接続先の設定などの設定は不要です。
au.NETをご利用の場合は月額945円(税込)が別途かかります(ご利用があった月のみのご請求となります)。料金については最新の総合カタログ／auホームページをご参照ください。
接続先に他のプロバイダを選択する場合は、接続先を追加設定(▶P.41「接続先を追加･編集･削除する」)しておき、ユーティリティー操作画面でプルダウンで接続先を選択して接続ボタンをクリックします。

memo

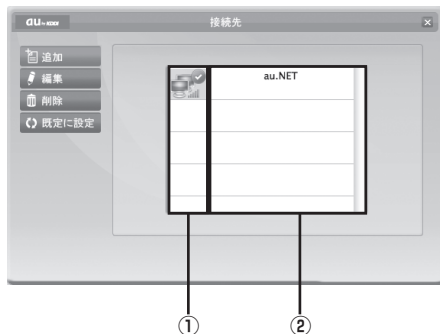
◎ au.NETで接続する場合は、ご利用月のみ月額945円(税込)が発生するため、接続時に注意喚起画面が表示されます。この注意喚起画面は「各種機能を設定する」の「⑤au.NET利用確認表示」(▶P.44)でも、「表示しない」に設定できます。

◎ WiMAX接続においてIDまたはパスワード誤りにより接続エラーが発生した場合、1分以上経過しないと「接続に失敗しました」のエラーメッセージが表示されません。

接続先を追加・編集・削除する

au.NET以外のプロバイダをご利用になる場合は、ユーティリティー操作画面で「接続先」をクリックします。事前にご利用になられる他のプロバイダの設定情報（▶P.42、操作3の表をご参照ください）を入手しておいてください。

接続先を追加する

1 ユーティリティー操作画面（▶P.38）で「接続先」をクリックする

接続先画面が表示されます。

■接続先画面

① 接続先の設定状態アイコン

アイコン	接続先の設定（接続）状態
	既定の接続先に設定（接続中）
	既定の接続先に設定（未接続）
	既定の接続先に設定していない接続先（接続中）
	既定の接続先に設定していない接続先（未接続）

② 接続先名称

◎ 接続先にダイレクトに接続可能なエイリアスを作成するエイリアス機能があります。操作1の接続先画面「②接続先名称」を[control]キーを押しながらクリックし、「デスクトップ上にエイリアスを作成」をクリックしてエイリアスを作成してください。

2 「追加」をクリックする

接続先設定画面（基本設定）が表示されます。

3 基本設定タブと高度な設定タブに必要な情報を入力する

■接続先設定画面(基本設定)

■接続先設定画面(高度な設定)

タブ	項番	設定内容
基本設定	①	接続先名:(任意文字)(最大半角・全角30文字入力可能)
	②	ダイヤル番号:(ご利用になるプロバイダ情報を入力)(最大半角30文字入力可能)
	③	ユーザー名:(ご利用になるプロバイダ情報を入力)(最大半角67文字入力可能)
	④	パスワード:(ご利用になるプロバイダ情報を入力)(最大半角30文字入力可能)
	⑤	パスワードの保存:このユーザーのみ/このコンピュータを使うすべてのユーザー
高度な設定	⑥	認証プロトコル設定:CHAP/PAP
	⑦	DNS設定:自動設定/手動設定(ご利用になるプロバイダが指定した優先DNSサーバおよび代替DNSサーバIPアドレスの入力)
	⑧	WINS設定:自動設定/手動設定(ご利用になるプロバイダが指定した優先WINSサーバおよび代替WINSサーバIPアドレスの入力)
	⑨	PPPリンクIPヘッダーの圧縮:利用する/利用しない

memo

◎「接続先名」には(:/.)は使用できません。
◎「.」(ドット)は、「接続先名」の先頭には使用できません。

4 「適用」をクリックする

5 「OK」をクリックする

以上で接続先の設定が終了して、接続先画面に追加した接続先が表示されます。

追加した接続先を既定の接続先に設定する場合は、接続先画面で接続先を選択して「既定に設定」をクリックします。

接続先を編集する

1 接続先画面(▶P.41)で編集したい接続先名を選択し、「編集」をクリックする

2 基本設定タブと高度な設定タブ(▶P.42)に新たな情報を入力する

3 「適用」をクリックする

4 「OK」をクリックする

以上で接続先の編集が終了しました。

接続先を削除する

1 接続先画面(▶P.41)で削除したい接続先名を選択し、「削除」をクリックする

削除確認画面が表示されます。

2 「OK」をクリックする

以上で接続先の削除が終了しました。

既定に設定する

1 接続先画面(▶P.41)で既定に設定したい接続先名を選択し、「既定に設定」をクリックする

「既定に設定」に設定した接続先は、表示順序が最上部に表示されます。

通信履歴を確認する

接続先への接続時間/開始日時/終了日時/送信データ量/受信データ量の集計などを確認することができます。

1 ユーティリティー操作画面(▶P.38)で「履歴」をクリックする

通信履歴画面が表示されます。

■通信履歴画面

ユーティリティー操作ガイド

① **接続先**

通信履歴を確認したい接続先、または「すべての接続先」から選択できます。

- 初期値は「すべての接続先」となっています。

② **期間**

当月／先月／先々月から選択できます。

- 初期値は「当月」となっています。

③ **送受信データ量**

選択された接続先に、選択された期間内に通信した送受信データ量の合計値が表示されます。

※接続時間や送受信データ量の数値は目安です。実際のものとは異なる場合があります。

④ **通信履歴の詳細表示**

データ通信を行った接続先･開始日時･終了日時･接続時間･送信データ量･受信データ量を表示します。

※接続時間や送受信データ量の数値は目安です。実際のものとは異なる場合があります。

⑤ **CSV出力**

表示した内容をCSV形式のファイルに保存します。

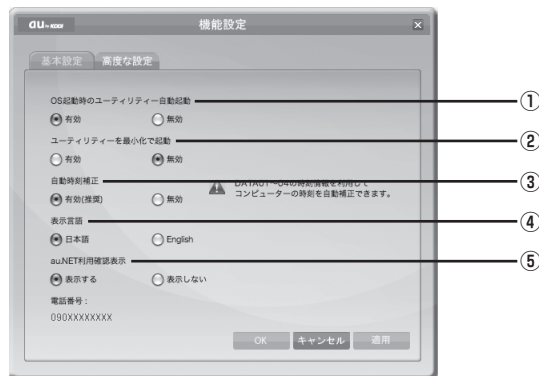
各種機能を設定する

各種機能設定を行います。

1 ユーティリティー操作画面（▶P.38）で「設定」をクリックする

機能設定画面が表示されます。

■機能設定画面（基本設定）

ユーティリティー操作ガイド

■機能設定画面（高度な設定）

タブ	項番	項目名	設定内容
基本設定	①	OS起動時のユーティリティー自動起動	パソコンを起動したときに自動的にユーティリティーを起動させるかどうかを設定します。 [有効][無効] • ユーザーごとの設定変更が可能です。 • この設定を有効にするには、ログアウトし、ログインする必要があります。
	②	ユーティリティーを最小化で起動	ユーティリティーを起動したときにユーティリティー操作画面を表示しないで、メニューバーアイコンでの表示のみにするかどうかを設定します。 [有効][無効]
基本設定	③	自動時刻補正	パソコンの表示時刻を補正するかどうかを設定します。 [有効（推奨）][無効] • パソコンの内部時間が日本時間と違っていた場合、WiMAX接続ができなくなる場合があります。
	④	表示言語	ユーティリティー操作画面の表示言語を設定します。 [日本語][English] • この設定を変更すると、自動的にユーティリティーが再起動されます。
	⑤	au.NET利用確認表示	[表示する][表示しない]
高度な設定	⑥	ネットワーク接続設定	ネットワークへの接続方法を設定します。 [WiMAX/CDMA 1X WIN自動切替（推奨）][CDMA 1X WIN専用] •「WiMAX/CDMA 1X WIN自動切替モード」が選択された場合、自動的にWiMAX方式とCDMA方式のどちらかの方式を選択し通信を行います。 ※CDMA 1X WIN専用モードよりも接続に時間がかかる場合があります。 •「CDMA 1X WIN専用モード」が選択された場合、WiMAXエリア内でもWiMAX方式での通信は行わず、CDMA方式でのみ通信を行います。 • この設定を変更すると、ポップアップを表示し、「OK」を押すとユーティリティーが再起動されます。

タブ	項番	項目名	設定内容
高度な設定	⑦	ケータイアップデート	本製品内部のソフトウェアのアップデートがある場合に、「実行する」をクリックします。 • アップデートにかかる通信料金(パケット通信料を含む)は無料です。

2 「適用」をクリックする

3 「OK」をクリックする

FAQを確認する

本製品に関するFAQを確認することができます。
オンラインでFAQを確認する場合にはパケット通信料がかかります。au.NETをご利用の場合は、ご利用月のみ月額945円(税込)が別途かかります。

1 ユーティリティー操作画面(▶P.38)で「ヘルプ」をクリックする

オフライン状態で閲覧できるFAQが表示されます。また、オンラインでFAQをご覧になりたい場合は、通信中にFAQをクリックしてください。

memo

◎通信中は、ユーザーの選択によりFAQから本製品の専用サイトを表示します。(オンラインFAQ閲覧可能)

ケータイアップデート:ソフトウェアを更新する

本製品はケータイアップデートに対応しています。
ケータイアップデートは本製品内部のソフトウェアを更新する機能です。(ユーティリティーの更新は行いません。)ケータイアップデートが必要かどうかをネットワークに接続して確認できます。
ケータイアップデートは「CDMA 1X WIN専用」の設定時のみ実行することができます。「ネットワーク接続設定」が「WiMAX/CDMA 1X WIN自動切替(推奨)」の場合は実行できません。WiMAX方式ではケータイアップデートは実行できません。

memo

◎ユーティリティーのアップデートにつきましては、以下の日立製作所のホームページからダウンロードしてご利用ください。
http://www.hitachi.co.jp/products/it/network/product/mobile/mobilecard/index.html
◎インターネット接続中はご利用いただけません。ご確認の前にインターネットを切断してください。
◎更新中にパソコンの電源がなくなり処理が中断しないように、ケータイアップデートを始める前に、パソコンのAC電源を接続してください。
◎ケータイアップデート中は、本製品を取り外さないでください。
◎開始後は完了するまで中止できません。

1 インターネット接続中の場合は接続を切断し、待機中の状態にする

2 ユーティリティー操作画面(▶P.38)で「設定」をクリックする

機能設定画面が表示されます。

3 高度な設定タブをクリックする

4 「ネットワーク接続設定」が「CDMA 1X WIN専用」になっていることを確認してから、「ケータイアップデート」→「実行する」をクリックする

利用確認画面が表示されます。

memo

◎「ネットワーク接続設定」が自動切替の場合は、「CDMA 1X WIN専用」に変更し、ユーティリティーを再起動後、手順1から実施してください。

5 「OK」をクリックする

自動的にインターネット経由で更新サーバに接続され、更新の確認が始まります。
更新がある場合はアップデートを開始します。画面の指示に従って操作してください。

memo

◎ケータイアップデートが完了したら、手順1からもう1度手順3までを行い、手順4の「ネットワーク接続設定」で希望の接続設定に変更して、ユーティリティーを再起動してください。
◎ソフトウェアの更新にかかわる情報料・通信料は無料です。
◎ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容については、auショップもしくはauお客様センター(157/通話料無料)までお問い合わせください。
◎電波状況を確認してください。電波の受信状況が悪い場所では、ソフトウェアの更新に失敗することがあります。
◎ソフトウェアが更新された後で、自動的に次の更新用ソフトウェアのダウンロードが開始される場合があります(連続更新)。
◎ソフトウェアの更新には時間がかかることがあります。
◎更新中は通信が不安定にならないようパソコンの移動は行わないでください。
◎ソフトウェアの更新に失敗した場合、本製品は使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップやPiPit(一部店舗除く)にお持ちくださいますよう、お願いいたします。

ソフトウェアのアンインストール

Mac OSでのアンインストール

ソフトウェアが不要になった場合は、ユーティリティーを終了させて、次の操作で削除してください。
操作手順、操作画面はMac OS X 10.6を例としています。

memo

◎ソフトウェアをアンインストールすると、お客様が追加、編集した接続先情報や通信履歴も消去されます。大切な接続先情報は、メモに残すなどバックアップをしてください。

1 本製品をパソコンに取り付ける(▶P.11)

(▶P.11)

デスクトップの「DATA01-04 Software」をダブルクリックし、「Macintosh」フォルダをダブルクリックしてください。

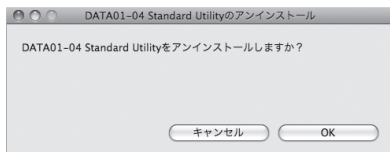
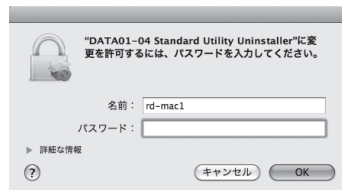
memo

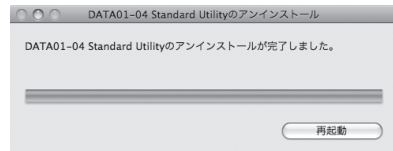
◎本製品をパソコンに取り付けた際、CDアイコンが一時的に消える場合があります。
◎ユーティリティーが起動されている場合、CDアイコンは表示されません。ユーティリティーを終了させてください。

2 「DATA01-04 Standard Utility Uninstaller」をダブルクリックする

アンインストールの確認画面が表示されます。

3 「OK」をクリックする

認証画面が表示されます。

4 管理者の名前(ユーザー名)とパスワードを入力し、「OK」をクリックする

アンインストール完了画面が表示されます。

5 本製品を取り外し、「再起動」をクリックする

以上でアンインストールは終了です。

memo

◎「Macintosh HD」はお使いになっているパソコンのハードディスクの名称です。お客様がお使いのパソコンの設定などによって、表示される名称は異なります。

故障とお考えになる前に

次のことをご確認ください。
それでも改善されない場合は、auショップまたはauお客様センターまでご相談ください。

■Windows版

症状	原因と対策
本製品を差し込んでもパソコンがまったく反応しない	● 本製品が正しくパソコンに接続されていない可能性があります。 本製品を再度、奥までしっかり差し込んでください。
	● 省エネタイプのパソコンではUSB/ExpressCardへの電源をOFFにしているものがあります。 パソコンの取扱説明書に従い、電源の状態を確認してください。
	● 本製品がパソコンに正しく認識されていない可能性があります。 デバイスマネージャ上で、モデムおよびネットワークアダプタとして正しく認識されていることを確認してください。
	● 本製品のドライバが正常に機能していない可能性があります。 ドライバが正常に機能しているか、取扱説明書「インストール結果の確認について」の手順に沿って問題がないことを確認してください。正しく表示されていても、問題が解決されない場合には、ドライバ上に表示されている該当ドライバのプロパティを表示し、診断タブ上で「診断」ボタンを押し、正常動作しているか確認してください。どれか一つでも確認結果がNGであった場合には、再度、インストールを行ってください。
	● DATA01～04 共通ユーティリティーの起動中に本製品の抜き差しを行うと、本製品がパソコンに認識されない場合があります。 その場合、本製品を再度接続してください。

症状	原因と対策
本製品の動作が不安定になる	● 本製品と他モバイルデータ端末(DATA01～04を含む)を同時利用した場合にまれに動作が不安定になる場合があります。 本製品を利用する際には、他モバイルデータ端末(DATA01～04を含む)は同時に使用しないでください。
	● まれに他のパソコン上で利用する機器(DVDドライブ、他モバイルデータ端末(DATA01～04を含む)、グラフィックボードなど)と本製品が使用中に競合し、動作が不安定になることがあります。 以下の当社製品HPより詳細情報を入手してください。 http://www.hitachi.co.jp/products/it/network/product/mobile/mobilecard/index.html
	● 本製品を使用しているパソコン上で、他のUSBポートで別のUSBデバイスが接続されていると本製品の動作が不安定になることがあります。 その場合には、本製品のみでご使用ください。
	● 本製品と無線LANを同時に使用して通信を行った場合、本製品の動作が不安定になることがあります。 本製品と無線LANを同時に使用しないでください。
	● 本製品の動作に関する設定変更については、DATA01～04 共通ユーティリティーでのみ行うことが可能であり、それ以外の方法(例えば、デバイスマネージャ上に表示される本製品に関連するネットワークデバイスのプロパティでの変更や、ネットワーク接続、または、ネットワークと共有センター上に表示される「DATA01-04 Standard Utility」のプロパティでの変更)で設定を変更した場合、本製品の正常動作は保証できません。 本製品の動作に関する設定変更は、DATA01～04 共通ユーティリティーでのみ行ってください。

症状	原因と対策
インターネットに接続できない	● **本製品が正しくパソコンに接続されていない可能性があります。** 本製品を再度、奥までしっかり差し込んでください。 ● **電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。** DATA01～04 共通ユーティリティーで電波状態を確認してください。電波状況が悪ければ、電波状況のよい場所まで移動してください。 ● **ご利用になるプロバイダへの接続設定が正しくない可能性があります。** 設定内容を確認してください。 ● **他の通信カードの設定ファイルが存在している可能性があります。** ファイルを初期化するメッセージが表示された場合は、その内容に従ってください。 ● **本製品に格納されているDATA01～04 共通ユーティリティーでのみネットワークへの接続が可能です。** OS付属のアプリケーションではネットワークへの接続ができませんので、取扱説明書に従い、DATA01～04 共通ユーティリティーをご使用ください。 ● **本製品がパソコン上で正しく認識されていないと、DATA01～04 共通ユーティリティー上でも同様に本製品を認識できないため、インターネットへの接続が行えません。** 取扱説明書「インストール結果の確認について」の手順に沿って、ドライバが正常に機能しているか確認してください。 ● **CDMA 1X WINが圏外のエリアで、パソコンの時刻が正しく日本時間にセットされていない場合、本製品でのネットワーク接続が失敗します。** パソコンの時刻を正しく日本時間にセットして、再度接続してください。 ● **本製品と他モバイルデータ端末(DATA01～04を含む)と同時利用はできません。** 本製品を利用する際には、他モバイルデータ端末(DATA01～04を含む)は使用しないでください。
インターネットに接続できない	● **本製品と無線LANを同時に使用して通信を行った場合、本製品の動作が不安定となりインターネットに接続できないことがあります。** 本製品と無線LANを同時に使用しないでください。 ● **ネットワーク接続後にOSのネットワーク接続から本製品のネットワークデバイスを「無効」にした場合、それ以降インターネット接続は行えません。** DATA01～04 共通ユーティリティー以外のユーザインタフェースにて本製品の、ネットワークデバイスの設定は変更しないでください。
通信が安定しない／遅く感じる	● **電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。DATA01～04 共通ユーティリティーで電波状態を確認してください。** 電波状況が悪ければ、電波状況のよい場所まで移動してください。 ● **パソコンからの輻射ノイズの影響が考えられます。** DATA01／03は付属のUSB延長ケーブル、DATA02／04は付属の外部アンテナを使用して、本製品の位置や向きを調整してご利用ください。
WiMAXを利用したいのに、CDMA 1X WIN接続やCDMA 1X接続となってしまう	● **本製品は、WiMAXを優先して接続しますが、安定した品質の通信が提供できないと判断した場合には、自動的にWiMAXからCDMA 1X WINやCDMA 1X接続に切り替わります。** WiMAXの通信状態が改善されれば、再度WiMAXへ自動的に切り替わります。ただし、CDMA 1X WINやCDMA 1X接続で通信している間はWiMAXへ切り替わることはありません。一定期間データ通信が発生せず、その間にWiMAXの電波状態が良好となった場合、再度WiMAXへ自動的に切り替わります。それ以外にCDMA 1XやCDMA1X WIN接続中にWiMAXを利用されたい場合においては、DATA01～04 共通ユーティリティー上にある「再接続」ボタンを押すことで、WiMAXがエリア内であればWiMAXに再接続します。

症状	原因と対策
本製品をパソコンに接続しても、インストーラが自動的に起動しない	● 本製品が正しくパソコンに接続されていない可能性があります。 本製品を再度、奥までしっかり差し込んでください。
	● システムが新しいハードウェアを認識してから、DATA01～04 共通ユーティリティーのインストールが開始されるまで時間がかかる場合があります。 一定時間が経過してもDATA01～04 共通ユーティリティーのインストーラが自動的に起動しない場合は、本製品を一度取り外してから、再度接続してください。
	● OS設定内の「USBデバイスの自動再生」を無効にしている場合は、DATA01～04 共通ユーティリティーのインストーラは自動起動しません。 本製品をパソコンから取り外し、OS設定内の「USBデバイスの自動再生」を有効にした後に、再度本製品をパソコンに取り付けてください。
ゼロインストール(※1)が始まらない	● まれに特定のパソコンにおいて、初回接続時のみゼロインストールが始まらない場合があります。 2回目以降は問題なくゼロインストールが開始されますので、本製品を再度パソコンに接続してください。 ※ 1：CD-ROMなしでDATA01～04 共通ユーティリティーのセットアップを行うことができるインストール方法。
インストールに失敗するときがある	● DATA01～04 共通ユーティリティーのインストールにまれに失敗することがあります。 この現象が発生した場合は、ポップアップの表示に従って、再度DATA01～04 共通ユーティリティーのインストールを行ってください。

症状	原因と対策
アンインストールができない	● 本製品をパソコンに接続している状態で、DATA01～04 共通ユーティリティーをアンインストールしようとすると、本製品を取り外してくださいとポップアップが表示され、アンインストールが実行できません。 DATA01～04 共通ユーティリティーをアンインストールする場合は、本製品をパソコンから取り外してから行ってください。
DATA01～04 共通ユーティリティーのインストール時に、「システム設定の変更」が表示される	● パソコンの設定によっては、DATA01～04がセットアップされたことで「システム設定の変更」通知がされることがあります。 問題はありませんので「はい」ボタンを押して通知ウィンドウを終了させてください。
DATA01～04 共通ユーティリティーのインストール／アンインストールで新しいハードウェアの検出ウィザードが表示される	● パソコンの設定によっては、DATA01～04 共通ユーティリティーのインストール／アンインストール時にハードウェアの検出ウィザードが表示されることがあります。 DATA01～04のインストール作業とは関連しないお知らせとなり問題ではありません。これらの通知がされた際には、「完了」や「キャンセル」ボタンを押して通知ウィンドウを終了させてください。
DATA01～04 共通ユーティリティーをインストールする前に使用していた他WiMAXデータ端末が利用できなくなった	● 他WiMAXデータ端末がインストールされている環境にDATA01～04 共通ユーティリティーをインストールすると、先にインストールされていた他WiMAXデータ端末が使用できなくなる場合があります。 また逆の場合には、本製品が正しく使用できなくなります。その場合には、利用されるデータ端末どちらか一方のみの環境をインストールするようにしてください。
複数のユーザーでDATA01～04 共通ユーティリティーが起動できない	● DATA01～04 共通ユーティリティーを同一パソコン上で同時に複数のユーザーで使用することはできません。 別ユーザーでDATA01～04 共通ユーティリティーを使用する場合には、その前に使用していたユーザーでログイン中にDATA01～04 共通ユーティリティーを終了させてください。

症状	原因と対策
ケータイアップデートに失敗した	● ケータイアップデートに失敗した場合には、表示されるポップアップの表示に従って操作してください。 ポップアップが表示されない場合は、本製品を抜き差しし、DATA01～04 共通ユーティリティーを再起動後に、再度ケータイアップデートを実行してください。
ウィルスソフトよりウィルスファイルの可能性があると表示される	● DATA01～04 共通ユーティリティーインストール時および実行時に、DATA01-04_Utility.exeや、HID_service.exe 、DDI_Service.exe、devcon.exe、bindview.exe、bind_del.exe、Setup_2.exeというファイルがウィルスファイルとして検出されることが、ご利用になられているウィルスソフトの種別や設定などによってありえます。 これらのファイルはDATA01～04 共通ユーティリティーで使用しているファイルですので、「許可」ボタンを押した後に、DATA01～04 共通ユーティリティーのインストール、および起動後の操作を継続して実行してください。本操作を行わないとインストールができなかったり、DATA01～04 共通ユーティリティーが起動できなかったり、DATA01～04 共通ユーティリティーの操作性が悪くなることがあります。
パソコンをスタンバイにできない	● まれに本製品使用中にパソコンをスタンバイにできないケースがあります。 その場合には、本製品をパソコンから取り外してからパソコンのスタンバイ処理を行ってください。
パソコンの起動時間が長くなった	● 本製品をパソコンに接続している状態で、パソコンの起動（再起動）を行った場合に、起動時間が長くなる場合があります。 その際には、本製品をパソコンから取り外して、パソコンの起動（再起動）を行ってください。

症状	原因と対策
通信をしていないのにパソコン本体の電力を消耗する	● 本製品をパソコンに接続している状態であれば、通信していない、もしくはDATA01～04 共通ユーティリティー未起動の状況でもパソコンから本製品に電力が供給されるためにパソコンのバッテリーを消費します。 本製品を使用しない場合には、パソコンから本製品を取り外してください。
付近のテレビやラジオなどに雑音が入る	● 本製品は電子機器ですので若干ながらノイズを発生します。 これは法令で許容されているごく微弱な量ですが、近くに置かれたテレビやラジオに影響を与えることもあります。テレビやラジオからパソコンや本製品を離すようにしてください。

■Mac版

症状	原因と対策
本製品を差し込んでもパソコンがまったく反応しない	● 本製品が正しくパソコンに接続されていない可能性があります。 本製品を再度、奥までしっかり差し込んでください。
	● 本製品のドライバが正常に機能していない可能性があります。 ドライバが正常に機能しているか、取扱説明書「インストール結果の確認について」の手順に沿って問題がないことを確認してください。
	● DATA01～04 共通ユーティリティーの起動中に本製品の抜き差しを行うと、本製品がパソコンに認識されない場合があります。 その場合、本製品を再度接続してください。
本製品の動作が不安定になる	● 本製品と他モバイルデータ端末(DATA01～04を含む)を同時利用した場合にまれに動作が不安定になる場合があります。 本製品を利用する際には、他モバイルデータ端末(DATA01～04を含む)は同時に使用しないでください。
	● まれに他のパソコン上で利用する機器(DVDドライブ、他モバイルデータ端末(DATA01～04を含む)、グラフィックボード等)と本製品が使用中に競合し、動作が不安定になることがあります。 以下の当社製品HPより詳細情報を入手してください。 http://www.hitachi.co.jp/products/it/network/product/mobile/mobilecard/index.html
	● 本製品を使用しているパソコン上で、他のUSBポートで別のUSBデバイスが接続されていると本製品の動作が不安定になることがあります。 その場合には、本製品のみでご使用ください。
	● 本製品と無線LANを同時に使用して通信を行った場合、本製品の動作が不安定になることがあります。 本製品と無線LANを同時に使用しないでください。
	● 本製品の動作に関する設定変更については、DATA01～04 共通ユーティリティーでのみ行うことが可能であり、それ以外の方法で設定を変更した場合、本製品の正常動作は保証できません。 本製品の動作に関する設定変更は、DATA01～04 共通ユーティリティーでのみ行ってください。

症状	原因と対策
インターネットに接続できない	● 本製品が正しくパソコンに接続されていない可能性があります。 本製品を再度、奥までしっかり差し込んでください。
	● 電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。 DATA01～04 共通ユーティリティーで電波状態を確認してください。電波状況が悪ければ、電波状況のよい場所まで移動してください。
	● ご利用になるプロバイダへの接続設定が正しくない可能性があります。 設定内容を確認してください。
	● 本製品に格納されているDATA01～04 共通ユーティリティーでのみネットワークへの接続が可能です。 OS付属のアプリケーションではネットワークへの接続ができませんので、取扱説明書に従い、DATA01～04 共通ユーティリティーをご使用ください。
	● 本製品がパソコン上で正しく認識されていないとDATA01～04 共通ユーティリティー上でも同様に本製品を認識できない為、インターネットへの接続が行えません。 取扱説明書「インストール結果の確認について」の手順に沿って、ドライバが正常に機能しているか確認してください。
	● CDMA 1X WINが圏外のエリアで、パソコンの時刻が正しく日本時間にセットされていない場合、本製品でのネットワーク接続が失敗します。 パソコンの時刻を正しく日本時間にセットして、再度接続してください。
	● 本製品と他モバイルデータ端末(DATA01～04を含む)と同時利用はできません。 本製品を利用する際には、他モバイルデータ端末(DATA01～04を含む)は使用しないでください。

症状	原因と対策
インターネットに接続できない	● 本製品と無線LANを同時に使用して通信を行った場合、本製品の動作が不安定となりインターネットに接続できないことがあります。 本製品と無線LANを同時に使用しないでください。 ● 本製品のネットワークデバイスを「無効」にした場合、それ以降インターネット接続は行えません。 DATA01～04 共通ユーティリティー以外のユーザインタフェースにて本製品の、ネットワークデバイスの設定は変更しないでください。 ● 本製品をパソコンに接続した際に、「新しいネットワークインターフェイスが検出されました」と通知された場合、「ネットワーク環境設定」ボタンをクリックした後、「ネットワーク画面」で「適用」をクリックしてください。
通信が安定しない／遅く感じる	● 電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。DATA01～04 共通ユーティリティーで電波状態を確認してください。 電波状況が悪ければ、電波状況のよい場所まで移動してください。 ● パソコンからの輻射ノイズの影響が考えられます。 DATA01／03は付属のUSB延長ケーブル、DATA02／04は付属の外部アンテナを使用して、本製品の位置や向きを調整してご利用ください。 ● OSのバージョンが古い可能性があります。 OSのバージョンアップを行うことで、通信が安定する場合があります。ソフトウェアアップデート方法等の詳細はアップルジャパン株式会社のサポートページをご覧ください。

症状	原因と対策
ログアウトに時間がかかる	● ディスクのアクセス権に問題がある可能性があります。以下の方法でディスクアクセス権を修復してください。 本製品をパソコンから取り外し、DATA01～04 共通ユーティリティーを終了後、「Macintosh HD」→「アプリケーション」→「ユーティリティ」→「ディスクユーティリティ」をダブルクリックしてください。 ディスクユーティリティ起動後、「Macintosh HD」を選択し、「ディスクのアクセス権を修復」を選択して修復を行ってください。
WiMAXを利用したいのに、CDMA1X WIN接続やCDMA 1X接続となってしまう	● 本製品は、WiMAXを優先して接続しますが、安定した品質の通信が提供できないと判断した場合には、自動的にWiMAXからCDMA 1XWINやCDMA 1X接続に切り替わります。 WiMAXの通信状態が改善されれば、再度WiMAXへ自動的に切り替わります。ただし、CDMA 1X WINやCDMA 1X接続で通信している間はWiMAXへは切り替えることはできません。WiMAXに切り替えるためには一定期間データ通信が発生しない状況とし、その間にWiMAXの電波状態が良好となった場合、再度WiMAXへ自動的に切り替わります。それ以外にCDMA 1XやCDMA 1X WIN接続中にWiMAXを利用されたい場合においては、DATA01～04 共通ユーティリティー上にある「再接続」ボタンを押すことで、WiMAXがエリア内であればWiMAXに再接続します。
インストールに失敗するときがある	● DATA01～04 共通ユーティリティーのインストールにまれに失敗することがあります。 この現象が発生した場合は、ポップアップの表示に従って、再度DATA01～04 共通ユーティリティーのインストールを行ってください。

症状	原因と対策
DATA01～04 共通ユーティリティーをインストールする前に使用していた他WiMAXデータ端末が利用できなくなった	● 他WiMAXデータ端末がインストールされている環境にDATA01～04 共通ユーティリティーをインストールすると、先にインストールされていた他WiMAXデータ端末が使用できなくなる場合があります。 また逆の場合には、本製品が正しく使用できなくなります。その場合には、利用されるデータ端末どちらか一方のみの環境をインストールするようにしてください。
複数のユーザーでDATA01～04 共通ユーティリティーが起動できない	● DATA01～04 共通ユーティリティーを同一パソコン上で同時に複数のユーザーで使用することはできません。 別ユーザーでDATA01～04 共通ユーティリティーを使用する場合には、その前に使用していたユーザーでログイン中にDATA01～04 共通ユーティリティーを終了させてください。
ケータイアップデートに失敗した	● ケータイアップデートに失敗した場合には、表示されるポップアップの表示に従って操作してください。 ポップアップが表示されない場合は、本製品を抜き差しし、DATA01～04 共通ユーティリティーを再起動後に、再度ケータイアップデートを実行してください。
パソコンをスタンバイにできない	● まれに本製品使用中にパソコンをスタンバイにできないケースがあります。 その場合には、本製品をパソコンから取り外してからパソコンのスタンバイ処理を行ってください。
通信をしていないのにパソコン本体の電力を消耗する	● 本製品をパソコンに接続している状態であれば、通信していない、もしくはDATA01～04 共通ユーティリティー未起動の状況でもパソコンから本製品に電力が供給されるためにパソコンのバッテリーを消費します。 本製品を使用しない場合には、パソコンから本製品を取り外してください。

症状	原因と対策
付近のテレビやラジオなどに雑音が入る	● 本製品は電子機器ですので若干ながらノイズを発生します。 これは法令で許容されているごく微弱な量ですが、近くに置かれたテレビやラジオに影響を与えることもあります。テレビやラジオからパソコンや本製品を離すようにしてください。

エラーメッセージ一覧

メッセージ	原因
ケータイアップデートに失敗しました(FSTOP)	● ケータイアップデートに失敗した可能性があります 更新ファイル要求受付の間に競合により強制終了したため、ケータイアップデートに失敗した可能性があります。 しばらく待ってから再度実行してください。
ケータイアップデートに失敗しました(FSZOV)	● ケータイアップデートに失敗した可能性があります 更新ファイルサイズオーバーしたため、ケータイアップデートに失敗した可能性があります。 しばらく待ってから再度実行してください。
ケータイアップデートに失敗しました(FCFHHO)	● ケータイアップデートに失敗した可能性があります 更新ファイル確認中に移動による携帯基地局、通信チャンネル等の切替接続に失敗したため、ケータイアップデートに失敗した可能性があります。 しばらく待ってから再度実行してください。
ケータイアップデートに失敗しました(FCFTO)	● ケータイアップデートに失敗した可能性があります 更新ファイル確認中のタイムアウトのため、ケータイアップデートに失敗した可能性があります。 しばらく待ってから再度実行してください。
ケータイアップデートに失敗しました(FCSTOP)	● ケータイアップデートに失敗した可能性があります 更新ファイル確認中の競合発生あるいは異常発生により強制終了したため、ケータイアップデートに失敗した可能性があります。 しばらく待ってから再度実行してください。
ケータイアップデートに失敗しました(FDLHHO)	● ケータイアップデートに失敗した可能性があります ファイルダウンロード中に移動による携帯基地局、通信チャンネル等の切替接続に失敗したため、ケータイアップデートに失敗した可能性があります。 しばらく待ってから再度実行してください。
ケータイアップデートに失敗しました(FDLNG)	● ケータイアップデートに失敗した可能性があります 更新ファイルが不正だったため、ケータイアップデートに失敗した可能性があります。 しばらく待ってから再度実行してください。
ケータイアップデートに失敗しました(FDLTO)	● ケータイアップデートに失敗した可能性があります ファイルダウンロード中のタイムアウトのため、ケータイアップデートに失敗した可能性があります。 しばらく待ってから再度実行してください。
ケータイアップデートに失敗しました(FDLSTOP)	● ケータイアップデートに失敗した可能性があります ファイルダウンロード中の競合発生あるいは異常発生により強制終了したため、ケータイアップデートに失敗した可能性があります。 しばらく待ってから再度実行してください。
ケータイアップデートに失敗しました。使用できなくなった場合はお近くのauショップにお持ちください。	● ソフトウェアの書き換え中に何らかの異常が発生しました。 本製品が使用できなくなった場合は、auショップやPiPit(一部店舗除く)にお持ちくださいますようお願いいたします。
電波状態の良いところで実行してください。	● ケータイアップデートに失敗した可能性があります サーバへの更新結果通知中の競合発生により強制終了したため、ケータイアップデートに失敗した可能性があります。 電波状態を確認後、しばらく待ってから再度実行してください。
ケータイアップデートの必要はありません。	● ケータイアップデートの必要はありません。 (更新ファイルが存在しない、または機種名情報がない)

ATコマンドリファレンス

本製品はATコマンドに準拠しています。通常はダイヤラなどの通信ソフトがATコマンドを発行するため、ATコマンドを意識する必要はありません。
なお、ATコマンドは、au.NETや対応プロバイダへのアクセス時のみご利用可能で、回線交換方式(ハイパーターミナルなどを使用する方式)での通信には対応していません。
入力例としては「AT」に続いてコマンドとパラメータを入力し、Enterキーを押します。「AT」およびコマンドの入力は大文字、小文字どちらでも構いません。
通信方式がWiMAXの場合は、ATコマンドはご利用になれません。
ユーティリティー起動中は、ATコマンドをご利用になれません。ユーティリティーを終了してからご利用ください。

ATコマンド

コマンド	パラメータ	説明
E	0	コマンドエコーしない
	1(初期値)	コマンドエコーする
H	0	通信を切断する 切断が完了するとOKリザルトコードを返信する
I	−	ATの基本情報を表示する Model:DATA01/03 Type:WiMAX & CDMA 1X WIN Manufacturer:HITACHI Phone Number:設定されている電話番号
Q	0(初期値)	リザルトコードを返す
	1	リザルトコードを返さない(インフォメーション・レスポンスは返す)
V	0	リザルトコードを数字形式で返す リザルトコード <数字><CR> インフォメーション・レスポンス <text><CR><LF>
	1(初期値)	リザルトコードを文字形式で返す リザルトコード <CR><LF> <文字><CR><LF> インフォメーション・レスポンス <CR><LF> <text><CR><LF>
Z	0	不揮発性メモリに保存されている内容でリセットする オンラインモードのときは通信を切断して初期化する
&F	0	工場出荷時の設定にリセットする パラメータ0は省略可、0以外はERRORを返すオンラインモード時は初期化して通信を切断する
&W	−	現在の設定を不揮発性メモリに保存する 適用範囲 E0-E1、Q0-Q1、V0-V1

リザルトコード

パソコンから送られたATコマンドに本製品が応答して、リザルトコードの形式でパソコンに信号を送り動作状態を通知します。
リザルトコードには文字形式と数字形式があり、Vコマンドで使用する形式を変更できます。

数字形式	文字形式	説明
0	OK	コマンドが正常に実行されました
1	CONNECT	オンラインモード遷移時に、このコードを送ります
3	NO CARRIER	オフラインモード遷移時、オンラインモードにならないとき、圏外のときに、このコードを送ります
4	ERROR	コマンドの入力エラー、または実行できないコマンドです
29	DELAYED	通信が規制中です

アフターサービスについて

修理を依頼されるときは

修理については、auショップもしくはauお客様センターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

※ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
※ 保証サービス、修理代金割引サービス、水濡れ・全損時リニューアルサービスにて交換した機械部品は当社にて回収リサイクルを行いますのでお客様へ返却することはできません。

補修用性能部品について

当社はこの本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を製造終了後6年間保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

安心ケータイサポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポート」をご用意しています(月額315円、税込)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細につきましては、auショップもしくはauお客様センターへお問い合わせください。

※ ご入会は、au電話のお買い上げ時のお申し込みに限ります。
※ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
※ 機種変更などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
※ au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
※ 機種変更時・紛失時あんしんサービスなどにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポート」は自動的に退会となります。
※ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

サービス内容抜粋	安心ケータイサポート会員	無料会員
① 保証サービス 注:保証内の場合、無償修理	5年保証サービス	3年保証サービス
② 修理代金割引サービス 注:水濡れ・全損以外の故障の場合、修理代金を割引	全額割引(無料)	お客様負担額 5,250円(税込)
③ 水濡れ・全損時リニューアルサービス 注:水濡れ・全損の故障の場合、リニューアル代金を割引	お客様負担額 5,250円(税込)	お客様負担額 10,500円(税込)
④ 紛失時あんしんサービス 注:盗難・紛失の場合、解除料の減額もしくは購入代金の割引	フルサポートコースでのご契約のau電話を盗難・紛失した場合	
	フルサポート解除料の全額免除	フルサポート解除料お客様負担額最大10,500円(税込)まで
	新しいau電話をシンプルコースでご購入される場合	
	新しいau電話購入代金最大18,900円(税込)OFF	新しいau電話購入代金最大6,300円(税込)OFF
⑤無事故ポイントバック	同一au電話を継続利用で、1年間無事故の場合、auポイント1,000ポイントプレゼント	なし

memo

修理代金割引サービス

◎水濡れ・全損はこの対象とはなりません。

◎お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象とはなりません。

◎外装ケースの汚れや傷、塗装の剥がれなどによるケース交換は全額割引の対象となりません。

水濡れ・全損時リニューアルサービス

◎お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象とはなりません。

紛失時あんしんサービス

◎「紛失時あんしんサービス」をご利用いただく場合、紛失・盗難の事由を警察または消防署など公的機関へ届出された際の信憑書類が必要となります。警察署または消防署などより届出の信憑書類が交付されない場合は、届出先の機関名、届出年月日、受理番号を提示いただきます。

◎お客様の分解による事故、故意による事故は、補償の対象となりません。

無事故ポイントバック

◎「修理代金割引サービス」「水濡れ・全損時リニューアルサービス」「紛失時あんしんサービス」のご利用がなく、ご購入から1年間同一機種を継続してご利用された場合、「auポイントプログラム」のポイントを1,000ポイント進呈します。

◎1年間の起算は、安心ケータイサポート加入月、ポイント提供月もしくは事故発生月となります。

アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記auお客様センターへお問い合わせください。

auお客様センター(紛失・盗難・故障・操作方法について)

一般電話からは　フリーコール 0077-7-113(通話料無料)
au電話からは　局番なしの113番(通話料無料)

主な仕様

■DATA01／03

サイズ(W×H×D)	約W28×H82×D12.3mm
インターフェイス	USB2.0／1.1
質量	約32g
使用電源	DC5.0V±5%（USBスロットより供給）
最大消費電流	約500mA
環境条件	動作温度範囲：5～35 ℃ 動作湿度範囲：30～85 %（結露しないこと）
制御コマンド	Hayes(ヘイズ)ATコマンド準拠
通信速度	WiMAX:最大受信40Mbps／送信10Mbps CDMA:最大受信3.1Mbps／送信1.8Mbps(ご使用の通信環境により最大通信速度は受信2.4Mbpsまたは144kbps、送信144kbpsまたは64kbpsとなる場合があります)※ ※ 通信はベストエフォート方式を採用しているため、回線の混雑状況などにより通信速度が切り替わります。

■au.NETの設定値について

接続先名	au.NET	
ダイヤル番号	＊99＊＊24#	
ユーザー名	au@au-win.ne.jp	
パスワード	au	
IP設定	自動設定	
認証プロトコル	CHAP	
DNS設定(自動設定) ※設定が必要な場合は右記参照	優先DNSサーバ	210.196.3.183
	代替DNSサーバ	210.141.112.163
WINS設定	自動設定	

索引

数字／アルファベット

あ

か

さ

た

な

は

や

ら

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部について、改変、翻訳、翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはなりません。

Hayes（ヘイズ）は、米国Zoom Telephonics.Inc.の登録商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

その他、本書で記載している会社名、製品名などは各社の商標、および登録商標です。とくに本文中では、®マーク、TMマークは明記しておりません。

WiMAX、WiMAX Forum、WiMAX Forum ロゴ、WiMAX Forum Certified、およびWiMAX Forum Certified ロゴはWiMAX Forumの商標または登録商標です。

C-motech Co.,Ltd.

この製品は、UQ WiMAXネットワーク環境でご使用になれますが、本製品の品質等に関してUQコミュニケーションズ株式会社が何ら保証するものではありません。

Apple、Mac OS、Snow Leopardは、Apple Inc.の米国およびその他の国における商標です。

お問い合わせ先番号 auお客様センター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
フリーコール 0077-7-111	局番なしの157番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難・故障・操作方法について（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
フリーコール 0077-7-113	局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合下記の番号にお電話ください。（無料）

フリーコール 0120-977-033（沖縄を除く地域）
フリーコール 0120-977-699（沖縄）

この取扱説明書は再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力ください。
このマークのあるお店で回収し、循環再生紙として再利用します。お近くのauショップへお持ちください。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わずマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

auオンラインマニュアル
へのアクセスはこちら

2010年9月第1版

発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：株式会社 日立製作所